お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→ IC レコーダー・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.jp/support/ic-recorder）
  IC レコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。
- **電話・FAX でのお問い合わせは→ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX 番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［IC レコーダー］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：ICD-SX713/SX813
    - シリアルナンバー：電池ボックス内
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.jp/support/**

使い方相談窓口	フリーダイヤル	0120-333-020
	携帯電話･PHS･一部のIP電話	0466-31-2511
修理相談窓口	フリーダイヤル	0120-222-330
	携帯電話･PHS･一部のIP電話	0466-31-2531

※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

➡ 左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「303」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4196712O3 (1)

SONY®

4-196-712-**03**(1)

IC レコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-SX713/SX813

⚠警告 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

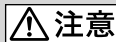
警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンなどを使用し たり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

著作権と商標について

著作権について

- 権利者の許諾を得ることなく、このマニュアルの全部または一部を複製、転用、送信等を行うことは、著作権法上禁止されております。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっている画像やデータの記録されたメモリースティック™メディアは、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意ください。

モジュールについて

Sound Organizerは、以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
Windows Media Format Runtime

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac OSは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
- 本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- microSDおよびmicroSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- "メモリースティック マイクロ"、"M2"および MEMORY STICK は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- "MagicGate"はソニー株式会社の商標です。
- Nuance、Nuanceのロゴ、Dragon、Dragon NaturallySpeaking、RealSpeakは、米国とその他の国々におけるNuance Communications Inc.、およびその関連会社の商標または登録商標です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名、
サービス名は、一般に各開発メーカーの登録
商標あるいは商標です。なお、本文中では®、
™マークは明記していません。

本製品はメモリースティック マイクロ™
（M2™）メディアに対応しています。
“M2™”は“メモリースティック マイクロ™”
の略称です。本文では今後略称M2™を用い
て記述します。

目次

準備

基本の操作

その他の録音操作

その他の再生操作

編集する

メニューについて

パソコンを活用する

その他

困ったときは

準備1：箱の中身を確認する

本体（1）

ステレオヘッドホン（1）
（ICD-SX713のみ）

ノイズキャンセリング機能用ヘッドホン（1）
（ICD-SX813のみ）

イヤーピース（Sサイズ、Mサイズ、Lサイズ）（各サイズ2個1組）
（ICD-SX813のみ）

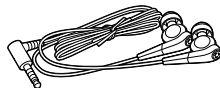
お買い上げ時は、Mサイズが装着されています。

USBケーブル（1）

スタンド（1）

パソコン用アプリケーションソフト
Sound Organizer (CD-ROM)（1）

キャリングポーチ（1）

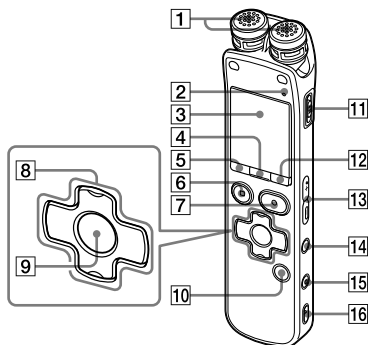
ソニー単4形充電式ニッケル水素電池（2）

取扱説明書（1）

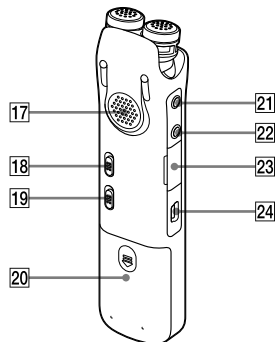
保証書（1）

上手な録音ガイド（1）

この取扱説明書で説明している以外の変更や改造を行った場合、本機を使用できなくなることがありますので、ご注意ください。

各部のなまえ

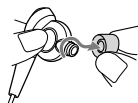
本体(表面)

1 内蔵マイク(ステレオ)
2 録／再ランプ
3 表示窓
4 シーンボタン
5 🗀(フォルダ)ボタン
6 ■ 停止ボタン
7 ● 録音／一時停止ボタン
8 コントロールボタン (▲、▼ ／ ⏮ (早戻し)、⏭ (早送り))
9 ► (再生) ／決定ボタン*
10 トラックマークボタン
11 電源／ホールドスイッチ
12 メニューボタン
13 音量－／＋*ボタン
14 (リピート) A-Bボタン
15 消去ボタン
16 ストラップ取り付け部 (ストラップは付属していません。)

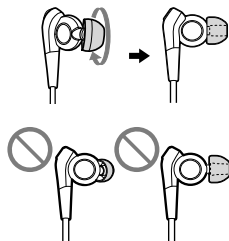
本体(裏面)

17 スピーカー
18 ノイズカットスイッチ
19 DPC (速度) /KEY CTRLスイッチ
20 電池ぶた
21 (マイク)ジャック*
22 (ヘッドホン)ジャック
23 M2™/microSDメモリーカードスロット
24 (USB)端子

* 凸点(突起)がついています。操作の目安、端子の識別としてお使いください。

イヤーピースを装着する
(ICD-SX813のみ)

イヤーピースが耳にフィットしていないと、適切なノイズキャンセリング効果が得られない場合があります。快適なノイズキャンセリング効果とより良い音質を楽しんでいただくためには、イヤーピースのサイズを交換したり、おさまりの良い位置に調節するなど、ぴったり耳に装着させるようにしてください。
お買い上げ時には、Mサイズが装着されています。サイズが耳に合わないと感じたときは、付属のLサイズやSサイズに交換してください。付属以外にも、Sサイズより小さいSSサイズを別売しています。内側の色でイヤーピースのサイズを確認してください。(SS:赤、S:橙、M:緑、L:水色)
イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ノイズキャンセリング機能用ヘッドホンにしっかり取り付けてください。取り付けを確実にするためにイヤーピースを回転してください。

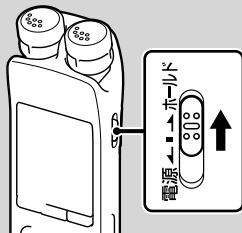
イヤーピースをはずすときは
ヘッドホンを抑えた状態で、イヤーピースをねじりながら引き抜きます。

ヒント
イヤーピースが滑ってはずれない場合は、乾いた柔らかい布でくるむとはずれやすくなります。

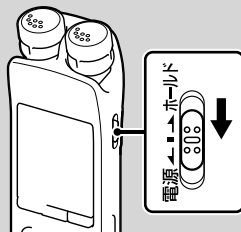
イヤーピースをつけるときは
ノイズキャンセリング機能用ヘッドホンの突起部分が完全に隠れるまで、イヤーピースの着色部分をねじりながら押し込んでください。

斜めになっている。　奥まで押し込まれていない。

イヤーピースが破損した場合には、別売のイヤーピース(EP-EX10)をご購入ください。サイズごとに4種類の別売イヤーピースがあります。

誤操作を防止する(ホールド)

本機を持ち運ぶ際など、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぐために、すべてのボタン操作を無効にすることができます(ホールド)。

本機をホールド状態にするには

電源/ホールドスイッチを「ホールド」の方向にスライドします。
「ホールド」が約3秒間表示され、すべてのボタン操作が無効になります。

ホールドを解除するには

電源/ホールドスイッチを中央位置にスライドします。

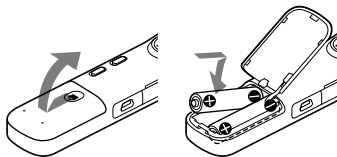
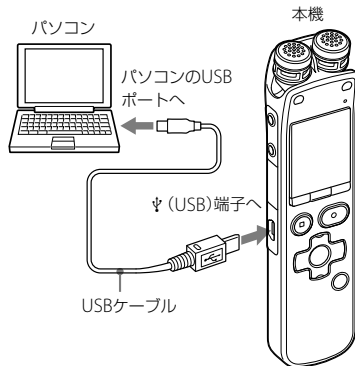
ご注意
録音中にホールドにした場合、すべてのボタン操作が無効になります。録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。
アラーム再生時、どのボタンを押してもアラーム音やファイル再生を止めることができます。(通常のファイル再生は停止できません。)

準備2：充電する

パソコンを使って充電する

本機を起動しているパソコンと接続して、電池マークが「FULL」になるまで充電してください。
電池を使いきった状態から約4時間で充電が完了します。＊

1 充電池を入れる。
電池ぶたを矢印の方向へずらして開け、単4形充電式ニッケル水素電池（付属）を入れ、ふたを閉めます。

2 USB端子をつなぐ。
本機の ψ（USB）端子とパソコンのUSBポートを、付属のUSBケーブルで最後まで挿し込み接続します。

充電中は、「接続中」と電池マークがアニメーション表示されます。

充電が完了すると、電池マークが「FULL」に変わります。

3 本機をパソコンから取りはずす。

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

①録／再ランプが消えていることを確認する。

②パソコンで下記の操作を行う。
Windowsの場合：
パソコンのデスクトップ下部で、以下のアイコンを左クリックしてください。

→[IC RECORDER の取り出し]を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
Macintoshの場合：
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

③パソコンからUSBケーブルを取りはずす。

* 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、前ページの充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

ご注意

電池マークがアニメーション表示されていない場合は、充電されていません。原因／処置については、「故障かな？と思ったら」（121ページ）をご覧ください。

充電済みの充電池、または別売の単4形アルカリ乾電池を使うときは

手順1にしたがって準備します。

ご注意

単4形アルカリ乾電池（別売）は充電できません。

ヒント

- 本機にはマンガン電池はお使いになれません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても録音したファイルやアラーム設定は消えません。
- 電池を交換する際、電池を取りはずしても約1日、時計は動いています。

USB ACアダプターを使って充電する

別売のUSB ACアダプター（AC-U501ADなど）を使って充電することもできます（109ページ）。

電池を充電／交換する時期

電池の残量が少なくなってくると、表示窓のアニメーション表示でお知らせします。

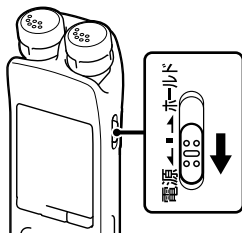
電池の残量表示

：「電池が残りわずかです」が表示されます。電池の充電／交換時期が近づいています。

↓

：「電池残量がありません」が表示され、操作ができなくなります。

準備3：電源を入れる

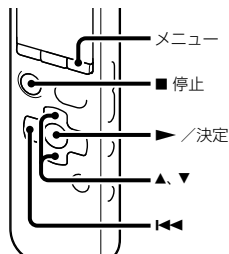
電源を入れるには

電源／ホールドスイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドすると、「アクセス中...」のアニメーションが表示され電源が入ります。

電源を切るには

電源／ホールドスイッチを「電源」の方向へ2秒以上スライドすると、「電源オフ」のアニメーションが表示されます。
しばらくたつと表示が消灯して電源が切れます。

ヒント

- 長時間ご使用にならない場合は、電源を切っておくことをおすすめします。
- 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（93ページ）。

準備4：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計を合わせておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま1日以上お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」のアニメーションが表示され、年表示が点滅します。

電池を充電後すぐに時計を合わせる

1 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

年を設定するときは、西暦の下2桁の数字を選んでください。

2 停止画面に戻すには、■ 停止ボタンを押す。

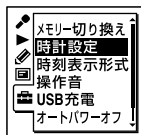
メニューを使って時計を合わせる

停止中にメニューを使って時計を合わせることができます。

1 メニュー画面で「時計設定」を選ぶ。

① メニューボタンを押して、メニューモードに入る。
メニュー画面が表示されます。

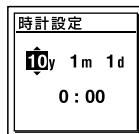
② コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して 🧰(本体設定)タブを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

③ コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「時計設定」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「自動」または「手動」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「自動」を選んだ場合：本機をパソコンにつないで付属のアプリケーションソフトSound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。
「手動」を選んだ場合は次の手順に進んでください。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「10y1m1d」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 年月日と時分を合わせる。
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、年、月、日、時、分の順で数字を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

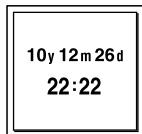
年を設定するときは、西暦の下2桁の数字を選んでください。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

それぞれの手順の間を1分以上あけると、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。

現在日時を表示するには

停止中に ■ 停止ボタンを押すと現在日時が約3秒間表示されます。

10y 12m 26d
22:22

録る

ご注意

- 録音を始める前に、必ず電池残量表示（15ページ）を確認してください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

ヒント

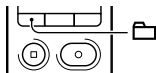
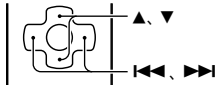
- 録音をする前に、あらかじめためし録りするか、録音モニター（51ページ）をしながら録音することをおすすめします。
- 録音の設定は、付属の「上手な録音ガイド」を参照してください。

内蔵マイクの指向性を切り換える

1 録音したい方向に合わせ、内蔵マイクの角度を手動で切り換える（31ページ）。

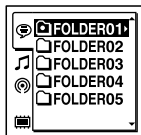
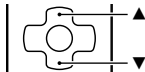
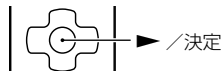
フォルダを選ぶ

1 電源／ホールドスイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（12ページ）。

2 🗀（フォルダ）ボタンを押してフォルダ選択画面を表示する。

3 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブを選び、コントロールボタンの ⏭（早送り）を押す。

ご注意

お買い上げ時には、(Voice)タブのみ表示されます。
(Music)タブ、(Podcast)タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます（101ページ、105ページ）。
また、(内蔵メモリー)タブは、本機にメモリーカードを入れると表示されます（43ページ）。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して録音したいフォルダを選ぶ。

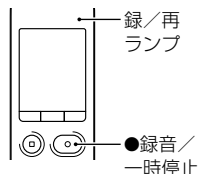
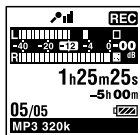
お買い上げ時には FOLDER01 ～ 05の5個のフォルダが作られています。

5 ►（再生）／決定ボタンを押す。

録音を始める（オート（AGC）録音）

1 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

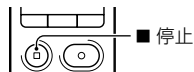
2 停止中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。

録／再ランプが赤く点灯します。

● 録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

新しいファイルは自動的に一番最後に録音されます。

録音を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

録／再ランプがオレンジに点滅し、今録音したファイルのはじめで停止します。

アクセス中のご注意

録／再ランプがオレンジに点滅している間は、メモリーへ録音データを記録しています。アクセス中は、電池をはずしたり、USB ACアダプター（別売）を抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。

その他の操作

録音を一時停止する*	● 録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、●II（録音一時停止）表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度 ● 録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していたファイルに続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■ 停止ボタンを押します。）
今録音したばかりのファイルを聞く**	►（再生）／決定ボタンを押す。 録音が解除され、今録音したファイルのはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する**	録音中または録音一時停止中にコントロールボタンの⏮（早戻し）を長押しする。 録音が解除され、今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。⏮（早戻し）を離すと、離したところから再生が始まります。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

** マニュアル録音時は操作できません。

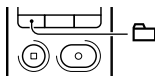
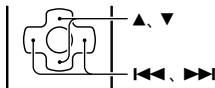
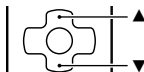
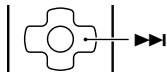
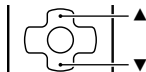
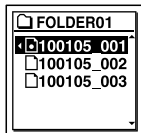
ヒント

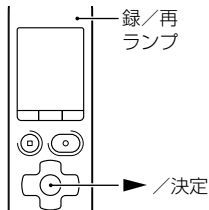
- ひとつのフォルダには最高199のファイルが録音できます。
- 付属のSound Organizerを使うと、新しいフォルダを作ったり、フォルダを消去することができます（104ページ）。
- メモリーカードをお使いの場合、内蔵メモリーの残量がなくなると自動的にメモリーカードに切り換えて録音を行うことができます。（クロスメモリー録音）（45ページ）

聞く

再生を始める

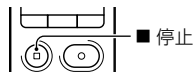
1 電源／ホールドスイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（12ページ）。

2 🗀（フォルダ）ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブ、♫(Music)タブ、◎(Podcast)タブのいずれかを選び、コントロールボタンの ⏭（早送り）を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、フォルダを選ぶ。

5 コントロールボタンの ►►I (早送り)を押す。

6 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、ファイルを選ぶ。

7 ► (再生) ／決定ボタンを押す。

すぐに再生が始まり、録／再ランプが緑に点灯します。
(メニュー 「ランプ」を「オフ」に設定しているときは点灯しません(91ページ)。)

8 音量－／＋ボタンを押して、音量を調節する。

基本の操作

再生を止める

1 ■ 停止ボタンを押す。

その他の操作

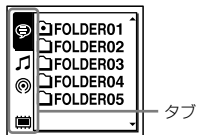
再生の途中、その位置で停止する	►（再生）／決定ボタンを押す。 もう一度 ►（再生）／決定ボタンを押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いているファイルの頭に戻る	コントロールボタンの ⏮（早戻し）を短く1回押す。*[1]*[2]
前のファイル、さらに前のファイルに戻る	コントロールボタンの ⏮（早戻し）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。*[3]）
次のファイルに進む	コントロールボタンの ⏭（早送り）を短く1回押す。*[1]*[2]
さらに次のファイルに進む	コントロールボタンの ⏭（早送り）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。*[3]）

*[1] トラックマークが設定されている場合は、前後のトラックマークの位置まで戻り、または進みます（73ページ）。

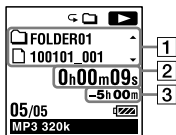
*[2] メニュー「イージーサーチ」が「オフ」に設定されている場合の操作です（52ページ）。

*[3] トラックマークには止まりません。

タブ表示について

本機で保存するフォルダは、録音可能エリアと再生専用エリアに分けて管理され、タブで表示されます。フォルダを選ぶときは、タブを切り換えることによりエリアを移動することができます。

(Voice)：録音可能エリア。本機で録音したファイルを管理するためのエリアです。
(Music)：再生専用エリア。パソコンから転送した音楽ファイルを管理するためのエリアです。
(Podcast)：再生専用エリア。パソコンから転送したポッドキャストを管理するためのエリアです。
(内蔵メモリー)または (外部メモリー)：本機の内蔵メモリーと外部メモリー（メモリーカード）を切り換えることができます（43ページ、44ページ）。

お買い上げ時には、(Voice)タブのみ表示されます。(Music)タブ、(Podcast)タブは、パソコンからファイルを転送すると表示されます（101ページ、105ページ）。
また、(内蔵メモリー)タブは、本機にメモリーカードを入れると表示されます（43ページ）。

ファイル再生時の画面表示について

1 ファイル情報表示

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して再生中のファイル情報を確認することができます。

本機で録音されたファイルは、下記のように表示されます。

：フォルダ名を表示：FOLDER01 ～ FOLDER05

：ファイル名を表示: 年月日_番号（100101_001）

：アーティスト名を表示：My Recording

：タイトル名を表示: 年月日_番号（100101_001）

再生時レベルメーターを表示

2 カウンタ情報表示

メニューでお好みの表示モードを選ぶことができます（91ページ）。
経過時間：1ファイルの経過時間
残り時間：1ファイルの残り時間
録音日付：録音した日付
録音時刻：録音した時刻

3 録音可能時間表示

録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

消す

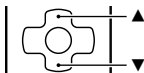
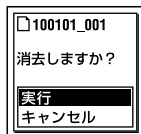
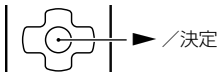
ご注意
一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。

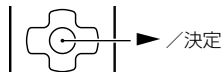
ファイルを選び消去する

1 電源／ホールドスイッチを中央位置にスライドし、ホールドを解除する（12ページ）。

2 停止中または再生中に消去したいファイルを選ぶ。

3 消去ボタンを押す。
「消去しますか？」と表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選ぶ。

5 ►（再生）／決定ボタンを押す。
「消去中...」のアニメーションが表示され、ファイルが1件消去されます。
ファイルを消すと、次のファイルが自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

途中で消去をやめる

1 「ファイルを選び消去する」の手順4で「キャンセル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

他のファイルを消去するには

「ファイルを選び消去する」の手順2から手順5を繰り返します。

ひとつのファイルの一部分だけ消去するには

ファイル分割（76ページ）で消去する部分としない部分に分け、消去したい部分のファイル番号を選んで、「ファイルを選び消去する」の手順3から手順5の操作をします。

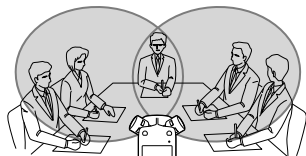
録音の設定を変える

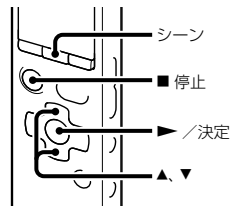
内蔵マイクの指向性を切り換える

内蔵マイクは、単一指向性です。内蔵マイクは、手動で角度を変えることができます。

内蔵マイクを同一方向（0° の位置）に向けた場合

マイクを向けた方向の音を中心に録音できます。ボイスメモやインタビュー録音など、特定の方向の音を録音する場合に便利です。

内蔵マイクを外側（120° の位置）に向けた場合

右側に設置されたマイクが右方向の音を、左側に設置されたマイクが左方向の音を拾います。広がりのあるステレオ感が得られるため、会議や音楽録音などにおすすめです。

用途に合わせた録音シーンを選ぶ

さまざまな録音シーンに合わせて、録音モード（84ページ）や録音感度（85ページ）などの録音に必要な項目を、一括でおすすめの設定に切り換えることができます。それぞれのシーンの設定は、お好みに合わせて編集することができます。

1 停止中にシーンボタンを押す。
シーンセレクト選択画面が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、お好みのシーンを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

（会議）	広い会議室での録音など、幅広い用途に適しています。
（ボイスメモ）	マイクを口元に近づけて録音するときに適しています。
（インタビュー）	1 ～ 2mくらいの距離で人の声を録音するときに適しています。内蔵マイクを同一方向（0°の位置）にすると、マイクの指向性を高めることができます。
（音楽）	アコースティックギター、ピアノ、バイオリンなどの楽器の音を、2 ～ 3mくらいの距離で録音するときに適しています。
（Myシーン）	お好みのおすすめセッティングを保存しておくためにご利用ください。

ご注意

- 録音中にシーン設定することはできません。
- 手順1でシーンセレクト選択画面が表示されてから、操作しない状態が60秒以上続くと、停止画面になります。

メニューを使ってシーンセレクトの設定をお好みに編集するには

1 メニュー → （録音）タブ →「シーンセレクト編集」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、編集したいシーンを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「現在の設定値から編集」または「編集」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、変更したいメニューを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

5 コントロールボタンの▲または▼を押して、変更したい設定項目を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。
それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは84 ～ 87ページをご覧ください。

6 コントロールボタンの▲または▼を押して、「編集完了」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

7 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

シーンセレクトの設定項目を初期値に戻すには

1 「メニューを使ってシーンセレクトの設定をお好みに編集するには」の手順3で「初期設定に戻す」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。
「設定値を初期値に戻しますか？」と表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。
設定項目がお買い上げ時の状態に設定されます。

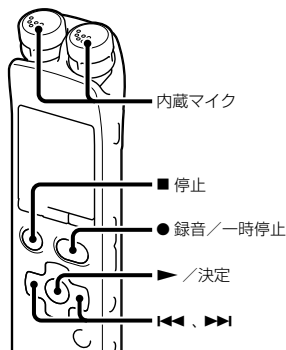
3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

お買い上げ時の設定項目

それぞれのメニュー、設定項目について詳しくは84 ～ 87ページをご覧ください。

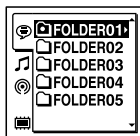
	（会議）	（ボイスメモ）	（インタビュー）
録音モード	MP3 192kbps	MP3 128kbps	MP3 192kbps
録音感度	中	低	中
録音レベル	－	－	－
LCF(Low Cut)	オン	オン	オン
リミッター	－	－	－
VOR	オフ	オフ	オフ
シンクロ録音	オフ	オフ	オフ
外部入力選択	MIC IN	MIC IN	MIC IN

	（音楽）	My（Myシーン）
録音モード	LPCM 44.1kHz/16bit	LPCM 44.1kHz/16bit
録音感度	低（音楽）	マニュアル MAN
録音レベル	－	10
LCF(Low Cut)	オフ	オフ
リミッター	－	オン
VOR	オフ	－
シンクロ録音	オフ	オフ
外部入力選択	MIC IN	MIC IN

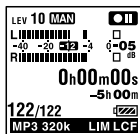
マニュアル録音する

メニューで「録音感度」を「マニュアル MAN」に設定すると、音源の状態に合わせて録音レベルを手動で調節することができます。また、必要に応じて「リミッター」（85ページ）の設定をすることにより、音割れなどの症状を低減することができます。

1 メニューの「録音感度」で「マニュアル MAN」を選ぶ（85ページ）。

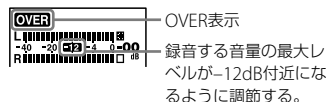
2 フォルダを選ぶ。

詳しくは「フォルダを選ぶ」（20ページ）をご覧ください。

3 内蔵マイクを録音する音の方向へ向ける。

4 ● 録音／一時停止ボタンを長押しする。

録音スタンバイ状態になります。マイクの音が入ると、表示窓のレベルメーターが動きます。

5 コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を押して、音源の状態に合わせて、録音レベルを調節する。

録音レベルは、表示窓のピークメーターで確認できます。–12dBを目安に、音源にあった適切な範囲に調節します。

表示窓に OVER 表示が出たときは音がひずみますので、OVER が表示されないレベルまでコントロールボタンの ⏮（早戻し）を押して録音レベルを下げてください。

コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を押し続けると、連続して録音レベルを変えることができます。録音レベルはレベルメーターの右側に数字でも表示されます。

6 録音状態に合わせた設定をする。

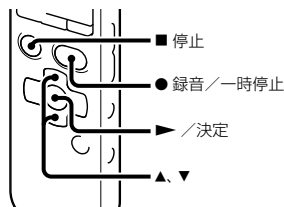
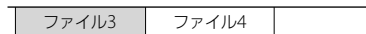
メニュー項目で、必要に応じて「リミッター」の設定をします（85ページ）。

7 録音を始めるには、● 録音／一時停止ボタンを押す。

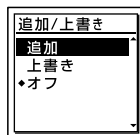
8 録音を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

ご注意

- マニュアル録音時は、VOR録音(40ページ)はできません。
- マニュアル録音中は、► (再生) ／決定ボタンを押しても、今録音したばかりのファイルを聞くことはできません。

録音済みのファイルに追加録音する

メニューで追加録音を選んで、ファイルを再生中にそのファイルに追加して録音することができます。再生中のファイルの最後に再生中のファイルの一部として追加されます。

あらかじめ、追加録音したいファイルを選んでください。

1 メニュー → 🎤(録音)タブ →「追加/上書き」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「追加」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

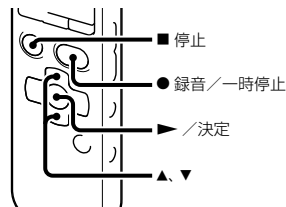
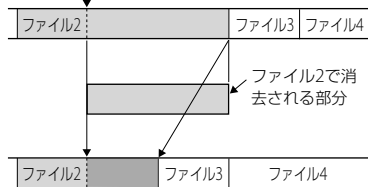
4 追加されるファイルを再生中に ● 録音／一時停止ボタンを押す。
「追加録音しますか？」が表示されます。
再生については24ページをご覧ください。

5 手順4のメッセージが表示されている間に、● 録音／一時停止ボタンを押す。
録／再ランプが赤に変わって、録音が始まります。

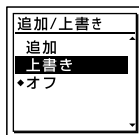
6 録音を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

ご注意

- ファイルがファイルサイズの上限（LPCMファイルの場合は2GB、MP3ファイルの場合は1GB）を超えているときは、追加録音はできません。
- LPCMファイルやMP3ファイルで、本機で録音していないものには、追加録音できません。また、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、追加録音ができなくなる場合があります。
- 追加録音分は、追加するファイルと同じ録音モードで録音されます。
- 手順4で ● 録音／一時停止ボタンを押してからもう一度押すまでに10分以上経過してしまったら、手順4からやり直してください。

録音済みのファイルの途中から上書き録音する

メニューで上書き録音を選んで、ファイルの中の指定した場所から、新しい音声で上書き録音できます。すでに録音してあった部分は消去されます。

あらかじめ、上書き録音したいファイルを選んでください。

1 メニュー → (録音)タブ →「追加/上書き」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「上書き」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

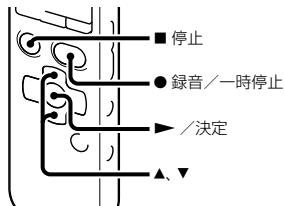
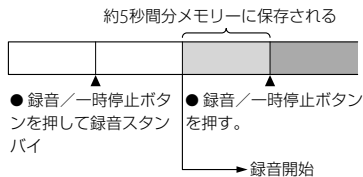
4 ファイルを再生し、上書きしたい位置で ● 録音／一時停止ボタンを押す。
「上書き録音しますか？」が表示されます。
再生については24ページをご覧ください。

5 手順4のメッセージが表示されている間に、● 録音／一時停止ボタンを押す。
録／再ランプが赤に変わって、録音が始まります。

6 録音を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

ご注意

- MP3ファイルの場合、ファイルがファイルサイズの上限(1GB)を超えているときは、上書き録音はできません。ただし、LPCMのファイルの場合は、ファイルがファイルサイズの上限(2GB)を超えているときでも、上書き録音の位置が先頭からファイルサイズの上限を超えていなければ、上書き録音ができます。
- LPCMファイルやMP3ファイルで、本機で録音していないものには、上書き録音できません。また、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、上書き録音ができなくなる場合があります。
- 上書き録音分は、上書きするファイルと同じ録音モードで録音されます。
- 手順4で ● 録音/一時停止ボタンを押してからもう一度押すまでに10分以上経過してしまったら、手順4からやり直してください。

少し前から録音する ― プリレコーディング機能

● 録音/一時停止ボタンを押す約5秒前の音から録音を開始することができます。インタビューや野外録音など、急な録音機会を逃したくない場合に便利です。

1 メニュー → (録音)タブ → 「プリレコーディング」を選び、► (再生) /決定ボタンを押して決定する。

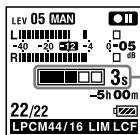
2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► (再生) /決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 フォルダを選ぶ。

5 ● 録音／一時停止ボタンを長押しする。

録音スタンバイ状態になります。
プリレコーディングが開始され、最大5秒前の音声を蓄積していきます。

6 録音を始めるには、● 録音／一時停止ボタンを押す。

録音スタンバイが解除され、手順5で蓄積した音声から継続して録音を開始します。

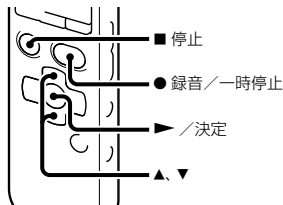
7 録音を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

ご注意

- 内蔵マイクを使ってプリレコーディングをしようとすると、● 録音／一時停止ボタンを押すときに雑音が入る場合があります。プリレコーディングをする場合は外部マイクを使って録音することをおすすめします。
- 録音可能時間が10秒未満になるとプリレコーディングはできません。不要なファイルを消去してから行ってください。
- 手順5の録音スタンバイ状態が60分以上続くと、スタンバイ状態が解除され、録音停止になります。
- 手順6を行う前に録音を停止した場合、メモリーに蓄積されたプリレコーディングした音声は保存されません。

プリレコーディング機能を解除するには

手順2で「プリレコーディング」を「オフ」にします。

音がしたとき自動録音する — VOR (Voice Operated Recording)録音

ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が一時停止するように、メニューで設定することができます。

1 メニュー → (録音)タブ →「VOR」を選び、►(再生)/決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「オン」を選び、►(再生)/決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ●録音/一時停止ボタンを押す。

VOR REC が表示されます。

マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、**VOR ●II**(録音一時停止)が点滅して、VOR録音が一時停止状態になります。

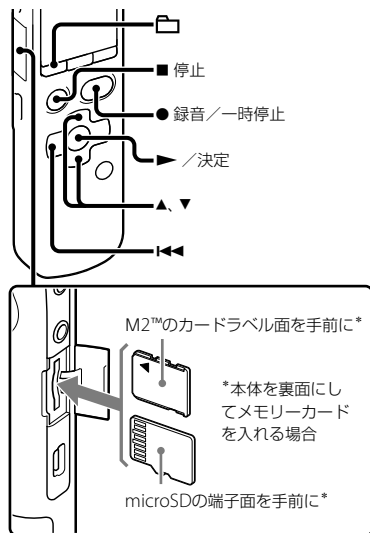
VOR録音一時停止状態のときに、マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、VOR録音が再開されます。

VOR録音を解除するには

手順2で「VOR」を「オフ」にします。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせて録音感度を切り換えてください。録音感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、メニューで「VOR」を「オフ」に設定してください。
- VOR録音中に●録音/一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると **●II** だけが点滅します。
- マニュアル録音中(34ページ)、プリレコーディング中(39ページ)、シンクロ録音中(48ページ)はVOR機能は働きません。

メモリーカードに録音する

本機では、内蔵メモリーの他に、別売のメモリーカードに音声を記録できます。

本機で使用できるメモリーカード

本機では、以下のメモリーカードをお使いになれます。

- メモリースティック マイクロ™(M2™)：16 GBまで対応。
- microSDカード：2 GB以下(FAT16)のmicroSDまたは4 GB ～ 32 GB (FAT32)のmicroSDHC。

64 MB以下のカードについては対応しておりません。

当社基準において動作確認をしたmicroSD/microSDHCカードは次のとおりです。

microSD/microSDHCカード

発売元	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
SONY	○	○	○	−	−
東芝	○	○	○	○	−
Panasonic	○	○	○	○	−
SanDisk	○	○	○	○	○

○：動作確認済み
−：未確認
2010年9月現在

ICD-SX713/SX813では、2010年9月現在発売されているメモリーカードによる動作確認を行っています。
最新の動作確認済みメモリーカードについては、ICレコーダーカスタマーサポートページ
http://www.sony.jp/support/ic-recorder
をご覧ください。

本書では、M2™とmicroSDカードを総称して「メモリーカード」と呼びます。
また、M2™/microSDメモリーカードスロットは「メモリーカードスロット」と呼びます。
メモリーカードに記録・再生できるファイルのサイズは本機の仕様上、1ファイルにつきLPCMは2 GB未満、MP3/LPEC/WMA/AAC-LCは1 GB未満です。
1枚のM2™には、最大4,074件のファイルを記録できます。

ご注意

すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

メモリーカードを入れる

録音する前に、メモリーカードに保存されているデータをパソコンに保存し、本機でフォーマットして空の状態にしてからお使いください（93ページ）。

1 停止中にメモリーカードスロットのカバーを開ける。

2 前ページの図の向きで、M2™またはmicroSDカードをメモリーカードスロットに、カチッと音がする奥までしっかり差し込み、カバーを閉める。

メモリーカードを取り出すには

メモリーカードを一度奥に押します。手前に出てきたら、メモリーカードスロットから取り出します。

フォルダとファイルの構成について

内蔵メモリーのフォルダとは別に、メモリーカード内に5個のフォルダが作成されます。
フォルダとファイルの構成は、内蔵メモリーとは異なります（95ページ）。

ご注意

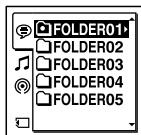
- 録音／再生／フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- メモリーカードが認識されない場合はメモリーカードを取り出し、再度入れ直してください。
- メモリーカードスロットのカバーは、しっかり閉じてください。また、挿入口には、液体･金属･燃えやすいものなど、メモリーカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

メモリーカードに切り換える（フォルダ選択画面から）

1 （フォルダ）ボタンを押す。
フォルダ選択画面が表示されます。

2 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して （内蔵メモリー）タブを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「メモリーカード」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

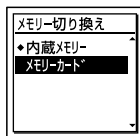
(内蔵メモリー)タブが (外部メモリー)に変わり、フォルダ選択画面が表示されます。

4 停止画面に戻すには、■ 停止ボタンを押す。

内蔵メモリーに戻すには

手順3で「内蔵メモリー」を選びます。

メモリーカードに切り換える(メニューから)

1 メニュー → (本体設定)タブ →「メモリー切り換え」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「メモリーカード」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「内蔵メモリー」設定になっています。
メモリーカードがフォーマット済みの場合は手順5に進んでください。

3 メモリーカードをフォーマットしていない場合は、メニュー → (本体設定)タブ →「フォーマット」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。
「全てのデータを消去しますか？」と表示されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

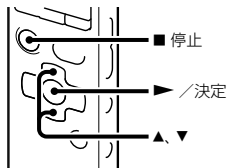
内蔵メモリーに戻すには

手順2で「内蔵メモリー」を選びます。

録音を開始するには

フォルダを選び、● 録音／一時停止ボタンを押します。

オート（AGC）録音については22ページ、マニュアル録音については34ページをご覧ください。

メモリーを切り換えて録音を続ける — クロスメモリー機能

内蔵メモリーまたはメモリーカードの残量が録音途中でなくなった場合でも、自動的にもう一方のメモリーに切り換えて録音を続けることができます。（クロスメモリー機能）

1 メニュー → 🎤（録音）タブ →「クロスメモリー録音」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

通常の録音に戻すには

手順2で「オフ」を選びます。

録音中にメモリーがいっぱいになると

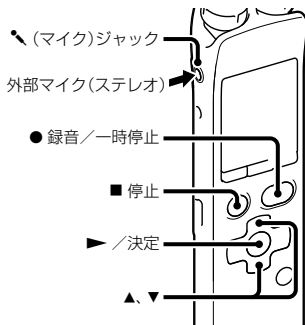
表示窓に「メモリーを切り換えて録音を継続します」というアニメーションが表示され、もう一方のメモリーの録音可能な番号の若いフォルダに、新しいファイルとして続いて録音されます。

新しいファイルは、新しいファイル名で作成されます。

ご注意

- 切り換え先のメモリーもいっぱいで録音できないときは、メッセージが表示され、録音が停止します。
- クロスメモリー録音で録音されたファイルを再生しても、自動的に移動先のファイルは続けて再生されません。
- クロスメモリー録音をする場合、本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えできることをあらかじめ確認してください(43ページ、44ページ)。
- 録音中に本機にメモリーカードを挿入しても、クロスメモリー録音は行われません。
- クロスメモリー録音で録音した場合、メモリー切り換え後の音声の一部で音切れする場合があります。

接続して録音する

外部マイクをつないで録音する

1 停止中に外部マイクを (マイク)ジャックにつなぐ。

画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください(87ページ)。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「MIC IN」を選び、► (再生)/決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 ● 録音/一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。
入力レベルが適正ではない場合は、本機の録音感度の設定を変更してください。
プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

お使いになれるマイク

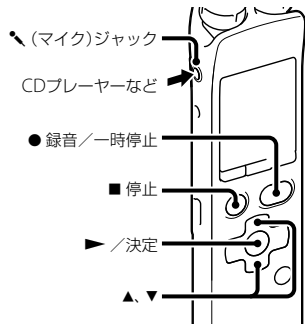
ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン(ステレオマイク) ECM-CS10 (別売)などをお使いいただけます。

電話機や携帯電話の音声を録音する

別売の電話録音用マイクECM-TL1を使うと、電話機や携帯電話での自分と相手の声を録音することができます。

ご注意

- 録音する場合には、本機と接続後、通話状態と録音レベルをご確認の上ご使用ください。
- 呼び出し音、発信音を録音した場合、会話が小さい音で録音されることがあります。そのような場合には、通話状態になってから本機を録音状態にしてください。
- 電話機の種類、回線の状況によってVOR機能（40ページ）が働かないことがあります。
- 本機を使って通話録音をした場合、万一、これらの不都合により録音されなかった場合は、一切の責任を負いません。

他の機器の音声を録音する

CDプレーヤーなど他の機器の音声を本機に録音することによって、パソコンを使わなくても、音楽ファイルを作成することができます。

ヒント

- 録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。
- 入力レベルが適正ではない場合は、他の機器のヘッドホン端子（ステレオミニジャック）を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

シンクロ録音機能を使って録音する

2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。

1 メニュー → （録音）タブ →「シンクロ録音」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「オン」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 停止中に他の機器を本機につなぐ。

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のソニー製オーディオコード（116ページ）を使って、本機の（マイク）ジャックにつなぎます。
画面に「外部入力選択」が表示されます。
「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください（87ページ）。

5 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「Audio IN」を選び、► （再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

6 ● 録音／一時停止ボタンを押す。

SYNC ●II が点滅してシンクロ録音が一時停止の状態になります。

7 つないだ機器で再生を始める。

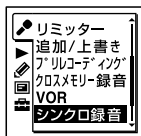
SYNC REC が表示され、シンクロ録音が開始されます。

2秒以上無音の部分が続くと、SYNC ●II が点滅して、シンクロ録音が一時停止状態になります。シンクロ録音一時停止状態のときに、次に音を感知したところから新しいファイルとして、シンクロ録音が再開されます。

ご注意

- シンクロ録音中は、録音一時停止（23ページ）やプリレコーディング（39ページ）、VOR録音（40ページ）、クロスメモリー録音（45ページ）、トラックマーク登録（73ページ）はできません。
- ご使用の機器によっては、音声入力レベルの違いなどによりシンクロ録音機能が正常に動作しない場合があります。

シンクロ録音機能を使わずに録音する

1 メニュー →（録音）タブ →「シンクロ録音」を選び、► （再生）／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、「オフ」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

3 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

4 停止中に他の機器を本機につなぐ。

他の機器の音声出力端子（ステレオミニジャック）を別売のソニー製オーディオコード（116ページ）を使って、本機の（マイク）ジャックにつなぎます。

画面に「外部入力選択」が表示されます。

「外部入力選択」が表示されない場合にはメニューで設定してください（87ページ）。

5 コントロールボタンの▲または▼を押して、「Audio IN」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「MIC IN」設定になっています。

6 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

7 ●録音／一時停止ボタンを押す。

内蔵マイクは自動的に切れ、つないだ機器の音声を録音します。

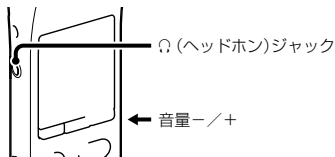
8 つないだ機器で再生を始める。

ヒント

他の機器の音声を録音する場合、本機の録音感度を下記のように設定することをおすすめします。

本機につなぐ機器	推奨録音感度
テープレコーダー、ポータブルCDプレーヤーなど	高（音楽）
据え置き型CDプレーヤーなど	低（音楽）

録音中に操作する

録音中の音をモニターする

付属のステレオヘッドホン(ICD-SX713のみ)またはノイズキャンセリング機能用ヘッドホン(ICD-SX813のみ)を (ヘッドホン)ジャックにつなぐと、録音中の音をモニターすることができます。
ヘッドホンからの音量(モニター音量)は、音量－／＋ボタンを押して調節します。録音される音量に影響はありません。

ご注意

ヘッドホン使用時に、ヘッドホンコードが本機に触れると、擦れ音として録音されてしまう場合があります。あらかじめコードを固定しておくことをおすすめします。

再生の設定を変える

より便利な再生方法

高音質で再生するには

- ヘッドホンで聞く：
  付属のステレオヘッドホン(ICD-SX713のみ)またはノイズキャンセリング機能用ヘッドホン(ICD-SX813のみ)を 🎧 (ヘッドホン)ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く：
  別売のアクティブスピーカーを 🎧 (ヘッドホン)ジャックにつないでください。

聞きたいところをすばやく探すには —イージーサーチ機能

メニューの中で「イージーサーチ」を「オン」に設定しておくと、再生中にコントロールボタンの ▶▶I (早送り)または I◀◀ (早戻し)を何度か押して、聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます(88ページ)。
コントロールボタンの I◀◀ (早戻し)を1回押すごとに約3秒前、▶▶I (早送り)を1回押すごとに約10秒先を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

再生中に早送り／早戻しするには(キュー／レビュー)

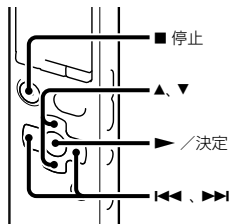
- 早送り(キュー)：
  再生中にコントロールボタンの ▶▶I (早送り)を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し(レビュー)：
  再生中にコントロールボタンの I◀◀ (早戻し)を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。押し続けると、高速での早送り／早戻しになります。

💡 最後のファイルの終わりまで再生または早送り(キュー)すると

- 最後のファイルの終わりまで来ると、「FILE END」表示が約5秒間点灯します。
- 「FILE END」と録／再ランプが消えると、最後のファイルの頭に戻って止まります。
- 「FILE END」の点灯中にコントロールボタンの I◀◀ (早戻し)を押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 最後のファイルが長時間のファイルの場合で、ファイル中の後ろの方を探して再生したい場合は、コントロールボタンの ▶▶I (早送り)を押し続けていったんファイルの最後まで早送りして、「FILE END」表示の点灯中にコント

ロールボタンの ⏮（早戻し）を押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後のファイル以外の場合は、次のファイルの頭に送ってから再生中に早戻しするとすばやく探せます。

カレンダーから録音した日付を選んで再生する

本機で録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。

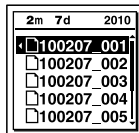
1 メニュー → ▣（表示）タブ →「カレンダー表示」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

「アクセス中...」のアニメーションの後に、カレンダーが表示され、現在の日付が選択されます。

2 コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を押して、日付を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

ファイルが存在する日付には日付に下線が表示されます。

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押すと、前後の週へ移動します。それぞれのボタンを長押しすると、連続して移動します。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、ファイルを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

確認画面が表示され、確認のため、選んだファイルが再生されます。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「決定」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

ファイルを再生します。

5 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

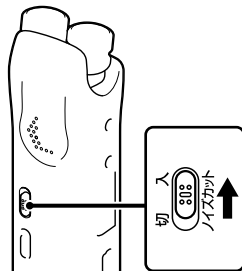
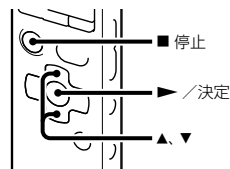
途中でカレンダーから録音した日付を選んで再生するのをやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

ご注意

- カレンダーから検索してファイルを再生するには、あらかじめ本機の時計を合わせる必要があります(17ページ)。
- ファイルの存在しない日付を選択して決定した場合は、「ファイルがありません」のアニメーションが表示されます。ファイルが存在する日付を選択してください。
- カレンダーから検索して再生できるのは、本機で録音したファイルが入っている録音可能フォルダのみです。フォルダ構成について詳しくは「フォルダとファイルの構成」(95ページ)をご覧ください。

再生音の雑音を低減して音声を聞きやすくする — ノイズカット機能

本体(裏面)

本体(表面)

再生時にノイズカットスイッチを「入」にすると、音声以外の周辺ノイズをカットします。音声帯域を含むすべての周波数帯域のノイズを低減するため、クリアな音質で再生することができます。

ご注意

- 録音した音声の状態によって、効果に違いが出る場合があります。
- 内蔵スピーカーで再生している場合は、ノイズカット機能は働きません。
- ノイズカットスイッチが「入」になっている場合は、エフェクト機能は働きません。

ノイズカットレベルを設定するには

1 停止／再生時に、メニュー → ▶(再生)タブ →「ノイズカットレベル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

メニューに表示される項目は、お使いの機種により異なります。

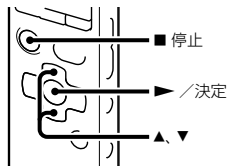
2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「強」または「弱」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「強」設定になっています。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ノイズカットを解除するには

ノイズカットスイッチを「切」にします。

小さな音も聞きやすい大きさで再生する — デジタルボイスアップ機能

メニューで「ボイスアップ」を「強」または「弱」に設定することによって、聞き取りにくい小さな音も聞きやすい大きさに自動調節して再生することができます。

1 停止／再生時に、メニュー → ▶(再生)タブ →「ボイスアップ」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

メニューに表示される項目は、お使いの機種により異なります。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「強」または「弱」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

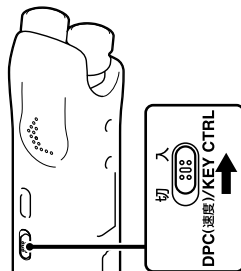
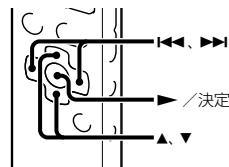
強	ボイスアップ機能の効果を大きくします。
弱	ボイスアップ機能の効果を小さくします。
オフ	ボイスアップ機能を無効にします。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

デジタルボイスアップ機能を解除するには

手順2で「ボイスアップ」を「オフ」にします。

再生速度と音程を調節する — DPC (Digital Pitch Control)、キーコントロール

本体(裏面)

本体(表面)

再生速度を0.25倍速から3.00倍速の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。

再生音の音程は、半音ずつ上下6段階に調節して、再生することができます。伴奏に合わせて歌を練習するときなどに便利です。

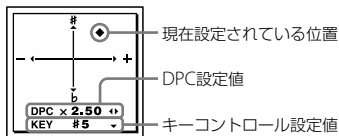
1 DPC（速度）/KEY CTRLスイッチを「入」にする。

2 再生中にコントロールボタンの▲または▼を押して、設定モードに入る。

3 コントロールボタンの⏮（早戻し）または⏭（早送り）を押して、再生速度を調節する。

⏮（早戻し）：0.05倍速刻みで遅くする（x0.25 ～ x1.00）
⏭（早送り）：0.10倍速刻みで速くする（x1.00 ～ x3.00）
ボタンを長押しすると連続して設定できます。
お買い上げ時は、「x0.70」になっています。

4 コントロールボタンの▲または▼を押して、音程を調節する。

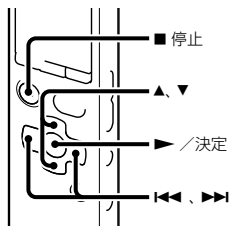
▲：半音ずつ上げる（#1 ～ #6）
▼：半音ずつ下げる（♭1 ～♭6）
お買い上げ時は、「0」になっています。

5 ►（再生）／決定ボタンを押して、設定モードを終了する。

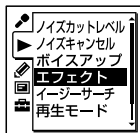
通常の再生速度と音程に戻すには

DPC（速度）/KEY CTRLスイッチを「切」にします。

ご注意

再生速度が2.10倍速～ 3.00倍速の場合、ノイズカット機能（54ページ）、エフェクト機能は働きません。

音質を切り換える

メニューで再生する音楽によって適した効果を設定します。

1 停止／再生時に、メニュー → ▶(再生)タブ →「エフェクト」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

メニューに表示される項目は、お使いの機種により異なります。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、お好みの音質を選び、 ► (再生) ／決定ボタンを押す。

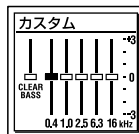
3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ポップス	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
ロック	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
ジャズ	高域を強調した張りのある音質になります。
ベース1	低音が強調されます。
ベース2	低音が更に強調されます。
カスタム	5バンドおよびクリアベースのサウンドレベルを自由に設定できます。
オフ	エフェクト機能を無効にします。

お買い上げ時は、「オフ」設定になっています。

自分好みの音質に設定するには

1 手順2で「カスタム」を選び、 ► (再生) ／決定ボタンを押す。
カスタム設定画面が表示されます。

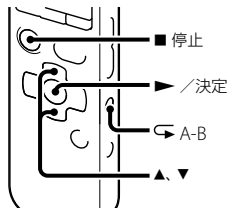
2 0.4kHz、1.0kHz、2.5kHz、6.3kHzまたは16kHzの周波数帯のレベルを調節する場合は、コントロールボタンの ⏮ (早戻し)または ⏭ (早送り)を押してそれぞれの周波数帯へ移動し、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押す。
–3 ～ +3の7段階に設定できます。

3 クリアベースを調節する場合は、コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押して「CLEAR BASS」へ移動し、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押す。
0 ～ +3の4段階に設定できます。

4 ►（再生）／決定ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

- 内蔵スピーカーで再生している場合は、設定は無効となります。
- ノイズカットスイッチが「入」になっている場合は、エフェクト機能は働きません。

再生モードを変える

メニューで用途に応じた再生モードを選ぶことができます。

1 停止／再生時に、メニュー → ▶（再生）タブ →「再生モード」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

メニューに表示される項目は、お使いの機種により異なります。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「1」、「🗀」、「ALL」、「⟳1」、「⟳ 🗀」または「⟳ ALL」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

1	1件ファイルを再生する。
🗀	フォルダ内のファイルを連続再生する。
ALL	全ファイルを連続再生する。
⮎1	1件ファイルをリピート再生する。
⮎🗀	フォルダ内のファイルをリピート再生する。
⮎ALL	全ファイルをリピート再生する。

お買い上げ時は、「🗀」設定になっています。

必要な部分だけを再生する — A-Bリピート

1 再生中に ⮎(リピート) A-Bボタンを押して、A点を指定する。
「A-B B?」が表示されます。

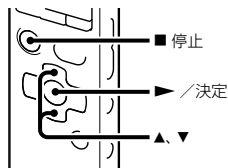
2 もう一度 ⮎(リピート) A-Bボタンを押して、B点を指定する。
「⮎A-B」が表示されて、指定した区間が繰り返し再生されます。

A-Bリピート再生を止めて通常の再生に戻すには：
►(再生)／決定ボタンを押します。

A-Bリピート再生を停止するには：
■ 停止ボタンを押します。

A-Bリピートの範囲を変えるには：
A-Bリピート再生中にもう一度 ⮎(リピート) A-Bボタンを押すと、手順1に戻り、新しいA点が設定されます。手順2に従ってB点を指定します。

ご注意
A点およびB点は、ファイルの先頭または終端付近や、トラックマーク付近では設定できません。

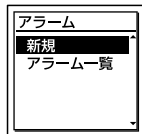
希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともにファイルを再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。
最大30件まで設定できます。

1 アラーム再生したいファイルを表示させる。

2 アラーム設定をする。

① 停止中に、メニュー →▶(再生)タブ →「アラーム」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

メニューに表示される項目は、お使いの機種により異なります。

② コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「新規」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 アラーム再生したい日時、時刻を設定する。

① コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「日時」、「月曜日」や「火曜日」など設定したい曜日、または「毎日」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

② **「日時」を選んだ場合**：
「準備4：時計を合わせる」（17ページ）に従って年月日、時刻を設定します。
曜日や「毎日」を選んだ場合：
コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「時」を選び、►（再生）／決定ボタンを押し、同じようにコントロールボタンの ▲ または ▼ を押して「分」を選び、►（再生）／決定ボタンを押します。

4 コントロールボタンの▲または▼を押してお好みのアラームパターンを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「実行中...」の表示が出て、設定された内容が表示されます。

5 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

メニューを終了すると「((•))」が表示されて、選んだファイルにアラームが設定されます。

設定内容を変更するには

1 メニュー →▶(再生)タブ→「アラーム」→「アラーム一覧」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。
アラーム一覧が表示されます。

2 コントロールボタンの▲または▼を押して、変更したい設定を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して「変更」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。
選んだファイルが再生されます。

4 「日時」、「月曜日」や「火曜日」など曜日、または「毎日」など、変更したい項目を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

5 日時と時刻を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

6 アラームパターンを選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。
「実行中...」の表示が出て、変更された内容が表示されます。

7 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

設定内容を解除するには

「設定内容を変更するには」の手順3で「解除」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定します。コントロールボタンの▲または▼を押して「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定するとアラームは解除されます。表示窓のアラーム表示が消えます。

設定した時刻になると

「ALARM」が表示されて、アラーム再生が始まります。
再生が終わると、自動的に停止します（アラームパターンで「ビープ&再生」または「再生」が設定されている場合は、アラーム再生したファイルの頭に戻ります）。

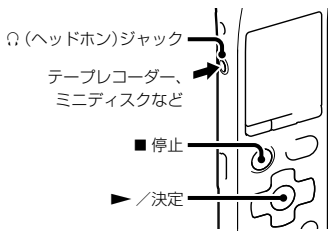
アラーム再生を止めるには

アラーム再生中に音量－／＋以外のボタンを押します。ホールド中は、どのボタンを押しても止められます。

ご注意

- 1件のファイルには1個のアラームしか設定できません。
- 時計を合わせていない場合や、録音したファイルがない場合は、アラーム設定はできません。
- メニューで「操作音」を「オフ」に設定していてもアラームが鳴ります（92ページ）。
- データ更新中にアラーム設定した時刻になった場合は、そのアラームは自動的に破棄されます。
- 2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方のファイルのみアラームが鳴ります。
- アラーム設定したファイルを分割した場合、分けた時点より前のファイルにのみアラーム設定されます。
- アラーム設定したファイルを消去すると、ファイルに設定されたアラームも一緒に解除されます。
- ポッドキャストにはアラーム設定できません。
- メモリーカードに保存されているファイルには、アラーム設定できません。

接続して再生する

本機の音声を他の機器で録音する

他の機器で本機の音声を録音できます。
録音をする前に、あらかじめためし録りをしてから、録音することをおすすめします。

1 本機の (ヘッドホン)ジャックと他の機器の外部入力端子を、別売のソニー製オーディオコード(116ページ)を使ってつなぐ。

2 本機の ►(再生)／決定ボタンを押して再生状態にし、同時に、つないだ機器の録音ボタンを押して、録音状態にする。

本機のファイルが他の機器に録音されます。

3 録音を止めるには、本機の ■ 停止ボタンを押し、つないだ機器の停止ボタンを押す。

ヒント

録音された音量が適切でない場合は、本機の再生音量を調節してください(25ページ)。

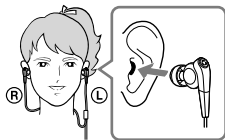
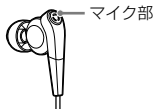
ノイズキャンセリング機能を使う

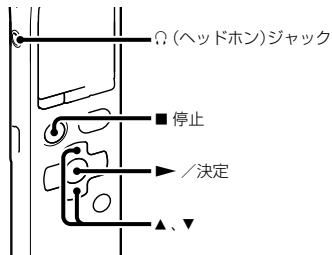
（ICD-SX813のみ）

ノイズキャンセリングとは

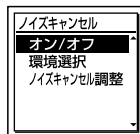
ノイズキャンセリング機能用ヘッドホンに内蔵したマイクが周囲の騒音を拾い、逆位相の音を出力することで騒音を聞こえにくくします。飛行機、電車やバスなど、主に乗り物内での騒音を減らし、小さな音量でも音楽を楽しめます。

ご注意

- イヤーピースが耳にフィットしていないと、ノイズキャンセリング効果が得られませんので、イヤーピースをおさまりの良い位置に調整したり、ぴったりと耳に装着させるようにしてください。

- 装着時にこすれ音などが発生することがありますが、製品には影響ありません。
- ノイズキャンセリング機能は主に低い周波数帯域のノイズを打ち消すもので、高い周波数帯域のノイズに対しては効果はありません。また、すべての音が打ち消されるわけではありません。
- ノイズキャンセリング機能用ヘッドホンのマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング効果がなくなることがあります。

- ノイズキャンセリング機能をオンにすると、かすかにサーという音がしますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障ではありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、「ノイズキャンセル」を「オフ」にしてください。
- 携帯電話の影響により、ノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話から本機を離してお使いください。
- ノイズキャンセリング機能用ヘッドホンの本体からの抜き差しは、ヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能が働いたままでヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。
- 「ノイズキャンセル」の設定を変更するときに切り換え音が発生しますが、ノイズキャンセリング回路切り換えにより起こるものであり故障ではありません。

ノイズキャンセリング機能を使って再生する

1 付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンを (ヘッドホン)ジャックにつなぐ。

2 停止／再生時に、メニュー →▶(再生)タブ →「ノイズキャンセル」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン/オフ」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「オン」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

お買い上げ時は、「オン」設定になっています。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

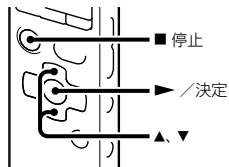
6 ファイルを選び、► (再生) ／決定ボタンを押して再生する。

ヒント

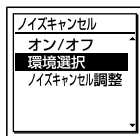
- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、画面に NC が表示されます。
- ノイズキャンセリング機能の効果を調整することができます(68ページ)。

ご注意

- 「ノイズキャンセル」の「オン/オフ」を「オン」にしても、付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホン以外を使っているときはノイズキャンセリング機能は働きません。
- 「ノイズキャンセル」の「オン/オフ」を「オン」にしても、録音中の音をモニターしているとき(51ページ)はノイズキャンセリング機能は働きません。
- 「ノイズキャンセル」の「オン/オフ」を「オン」にしても、停止操作後しばらくの間何も操作しなければ、ノイズキャンセリング機能は自動的に停止されます。その場合、任意のボタンを押すと再び有効になります。

ノイズキャンセリングの設定を変更する

周囲の騒音の種類を選択することで、それぞれの環境においてもっとも効果的にノイズキャンセリング機能が適用されるように設定することができます。

1 停止／再生時に、メニュー → ▶(再生)タブ →「ノイズキャンセル」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「環境選択」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、お好みの環境を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

電車・バス	主に電車、バスの騒音を効果的に低減します。
航空機	主に航空機内の騒音を効果的に低減します。
室内	主にオフィス、勉強部屋などのOA機器や空調機器の騒音を効果的に低減します。

お買い上げ時は、「電車・バス」設定になっています。

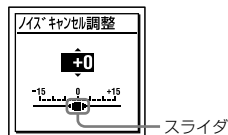
ご注意

環境選択の設定を行っても「ノイズキャンセル」の「オン/オフ」（66ページ）が「オン」になっていないときは効果は得られません。

ノイズキャンセリング機能の効果を調整するには

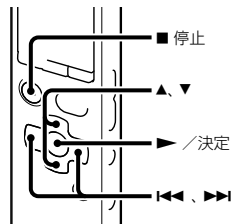
本機は、ノイズキャンセリング機能（65ページ）の効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、耳の形状や使用環境によって、ヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる（または下げる）ことでさらに効果が得られる場合があります。
ノイズキャンセリング機能の効果が得にくいと感じるときは、ノイズキャンセル調整でマイクの感度を調整してください。

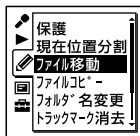
1 メニュー→ ▶（再生）タブ→「ノイズキャンセル」→「ノイズキャンセル調整」を選び、► （再生）／決定ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、希望の値を選び、► （再生）／決定ボタンを押して決定する。
–15 ～ +15の31段階の値で調節できます。スライダが中央にある状態（0）が標準的な環境で最も効果が得られる設定です。お好みで調整してください。

ご注意

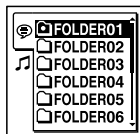
- ノイズキャンセル調整を行っても「ノイズキャンセル」の「オン/オフ」（66ページ）が「オン」になっていないときは効果は得られません。
- お買い上げ時の設定（スライダが中央にある状態）が標準的な環境で最も効果が得られる設定です。マイクの感度を最大にすればノイズキャンセリング機能の効果がより得られるようになるわけではありません。

フォルダ内のファイルを整理する

ファイルを別のフォルダに移動する

1 移動させたいファイルを選ぶ。

2 停止／再生時に、メニュー → ✐(編集)タブ →「ファイル移動」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

移動したいファイルが再生されます。

3 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブまたは ♫ (Music)タブを選び、⏭（早送り）を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、移動先のフォルダを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「移動中...」のアニメーションが表示され、移動先フォルダの最終ファイルの位置にファイルを移動します。
移動すると、もとのフォルダからそのファイルはなくなります。

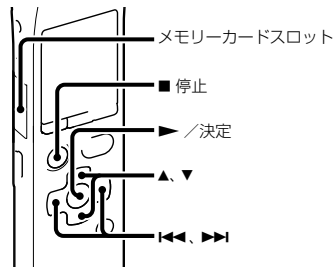
5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でファイルの移動をやめるには

手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

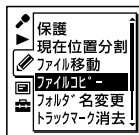
ご注意

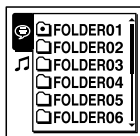
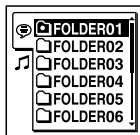
- ポッドキャストは移動できません。
- 保護されている（81ページ）ファイルは移動できません。
- 別のメモリーにはファイルは移動できません。

ファイルを別のメモリーにコピーする

内蔵メモリーとメモリーカード間でファイルのコピーができます。バックアップをとる場合などに便利です。操作を始める前に、ファイルコピーに使用するメモリーカードをメモリーカードスロットに入れてください。

1 コピーしたいファイルを表示する。

メモリーカードのファイルを内蔵メモリーにコピーするときは、メモリーをメモリーカードに切り換えます（43ページ、44ページ）。

2 メニュー → (編集)タブ →「ファイルコピー」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

「メモリーカードのコピー先を選択してください」または「内蔵メモリーのコピー先を選択してください」というアニメーションが表示され、フォルダ選択画面が表示されます。

3 コントロールボタンの ⏮（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して (Voice)タブまたは ♫(Music)タブを選び、⏭（早送り）を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、コピー先のフォルダを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

「コピー中...」のアニメーションが表示され、コピー先フォルダの最後にコピーします。ファイルは同じファイル名でコピーされます。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中でコピーをやめるには

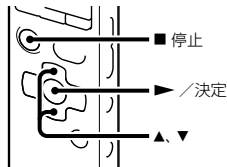
手順4の前に ■ 停止ボタンを押します。

コピー中に中止するには

手順4で「コピー中...」のアニメーションが表示されているときに、■ 停止ボタンを押します。

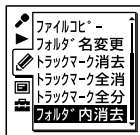
ご注意

- ファイルコピーを始める前に、電池残量を確認してください。残量が少ないとコピーできません。
- コピー先のメモリーの残量が少ない場合は、ファイルコピーができない場合があります。
- ポッドキャストはコピーできません。
- コピーの途中でメモリーカードの抜き差しおよび電源を切らないでください。ファイルが破損するおそれがあります。

フォルダの中身を一度に消去する

ご注意

フォルダ内のファイルが保護設定されている場合（81ページ）、そのファイルは消去されません。

1 停止中に消去したいファイルの入っているフォルダを選ぶ。

2 メニュー → (編集)タブ →「フォルダ内消去」を選び、►(再生)/決定ボタンを押して決定する。

「フォルダ内のファイルを全て消去しますか?」と表示されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►(再生)/決定ボタンを押す。

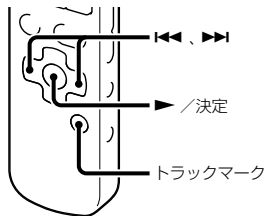
「消去中...」のアニメーションが表示され、フォルダ内の全ファイルが消去されます。

4 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、►(再生)/決定ボタンを押します。

トラックマークを使う

トラックマークを付ける

再生時の頭出しや、分割位置の目安として利用するために、トラックマークを付けることができます。1つのファイルに98個まで設定できます。

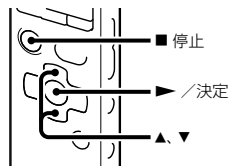
録音中、再生中、一時停止中、トラックマークを付けたい場所でトラックマークボタンを押す。

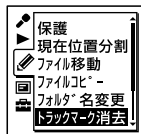
⚑（トラックマーク）表示が3回点滅し、トラックマークが設定されます。

ご注意
- 本機で録音したファイルについてのみトラックマークを設定することができます。ただし、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、トラックマークが設定できなくなる場合があります。
- トラックマークの0.5秒以内に別のトラックマークを設定することはできません。
- ファイルのはじめと終わりで、トラックマークの設定ができないことがあります。
- すでに98個のトラックマークがファイルに設定されている場合、新たに設定することはできません。
- 再生中にトラックマークを設定すると、再生が停止します。

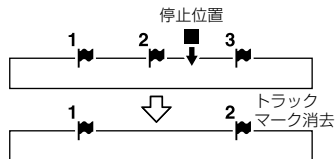
トラックマークを付けた位置を探して聞くには

停止中にコントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）を押します。⚑（トラックマーク）表示が1回点滅したら、►（再生）／決定ボタンを押します。

トラックマークを消去する

1 消去したいトラックマーク位置の後で停止する。

2 メニュー → ✐(編集)タブ →「トラックマーク消去」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

「トラックマークを消去しますか？」と表示されます。

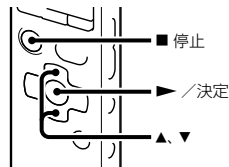
3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

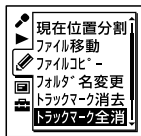
「消去中...」のアニメーションが表示され、設定したトラックマークは消去されます。

停止位置の一つ前のトラックマークが消去される。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、►（再生）／決定ボタンを押します。

すべてのトラックマークを消去する

1 トラックマークを消去したいファイルを選ぶ。

2 メニュー → ✎(編集)タブ →「トラックマーク全消去」を選び、►(再生)／決定ボタンを押して決定する。

「トラックマークを全て消去しますか?」と表示されます。

3 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►(再生)／決定ボタンを押す。

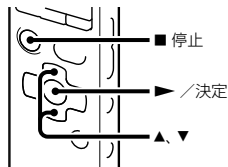
「消去中...」のアニメーションが表示され、すべてのトラックマークが一度に消去されます。

4 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

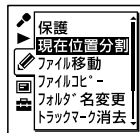
途中で消去をやめるには

手順3で「キャンセル」を選び、►(再生)／決定ボタンを押します。

ファイルを分割する

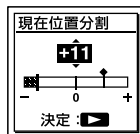
現在位置で分割する

停止中にファイルを分割して、その場所に新しいファイル番号が付けられます。会議など1件のファイルが長時間になったときなどに、複数のファイルに分割しておくと、再生したい場所がすばやく探せ、便利です。分割したいファイルが入っているフォルダのファイル数がいっぱいになるまで、ファイルを分割できます。

1 分割したい位置で停止する。

2 メニュー →（編集）タブ →「現在位置分割」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

分割位置から約4秒間の繰り返し再生が始まります。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、希望する分割位置を微調節する。

▲：後ろに移動。

▼：前に移動。

現在位置の前後約6秒間で約0.3秒単位での微調節が可能です。

4 ►（再生）／決定ボタンを押す。

「分割しますか？」と表示されます。

5 コントロールボタンの▲または▼を押して、「実行」を選び、►(再生)/決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、分割元のファイルには「_1」が、新しいファイルには「_2」が付きます。

ファイル1	ファイル2		ファイル3
	▲ ⇩ ファイル分割		
ファイル1	ファイル2_1	ファイル2_2	ファイル3

分割したファイル番号の末尾に連番(「_1」、「_2」)が振られる。

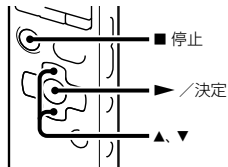
6 ■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

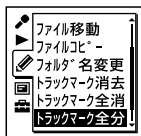
ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 本機で録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は分割できません。また、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルは元に戻せません。
- トラックマークから前後0.5秒以内の位置で分割した場合、そのトラックマークは消去されます。
- システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイルの分割ができないことがあります。

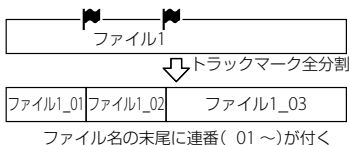
途中で分割をやめるには

手順5で「キャンセル」を選び、►(再生)/決定ボタンを押します。

すべてのトラックマーク位置で分割する

1 分割したいファイルを選ぶ。

2 停止時に、メニュー → (編集)タブ →「トラックマーク全分割」を選び、►(再生)/決定ボタンを押して決定する。

「全てのトラックマークで分割しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► （再生）／決定ボタンを押す。

「分割中...」のアニメーションが表示されて、すべてのトラックマークが消去され、トラックマークの位置で分割します。ひとつのファイルから分割されたファイルには末尾に連番（_01 ～）が振られます。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

途中で分割をやめるには

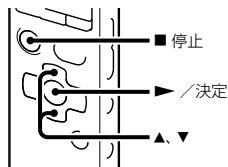
手順3で「キャンセル」を選び、► （再生）／決定ボタンを押します。

ヒント

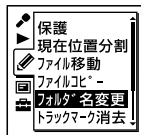
「トラックマーク全分割」の実行中に分割を中断したいときは、■ 停止ボタンを押すことで中断できます。分割が中断されるまでのファイルについては分割されます。

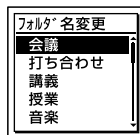
ご注意

- ファイルを分割するには、メモリーに一定の空き容量が必要です。
- ファイルタイトル、アーティスト名は分割した後ろのファイルも同じになります。
- 本機で録音されたファイル以外（パソコンから転送したファイル）は分割できません。また、付属のアプリケーションソフトSound Organizerを使ってファイルを編集すると、ファイルを分割できなくなる場合があります。
- 分割したファイルは元に戻せません。

フォルダの名前を変更する

本機で録音できるフォルダに対して、フォルダ名を変更することができます。
変更するフォルダ名は、16種類のテンプレートから選ぶことができます。

1 フォルダリストの (Voice)タブから、名前を変更したいフォルダを選ぶ。

2 停止時に、メニュー → (編集)タブ →「フォルダ名変更」を選び、►（再生）／決定ボタンを押して決定する。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、お好みのフォルダ名を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

以下の16種類のフォルダ名から選ぶことができます。
会議、打ち合わせ、講義、授業、音楽、歌、インタビュー、語学学習、旅行、野外、伝言、スケジュール、買い物リスト、To Do、ボイスメモ、FOLDER

「実行中...」が表示され、フォルダ名が変更されます。

4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

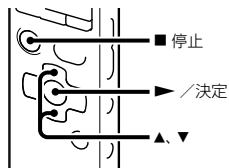
ヒント

- 同じフォルダ名は、最大10個まで指定できます。既に存在するフォルダと同じフォルダ名を選んだときは、フォルダ名の末尾に2 ～ 10の数字が付きます。

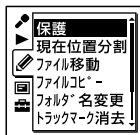
- テンプレートから「FOLDER」を選んだときは、フォルダ名の末尾には常に01 ～ 10の数字が付きます。

ご注意

再生専用エリアの ♫(Music)タブ、◎(Podcast)タブで管理されているフォルダの名前は変更できません。

ファイルを保護する

大事なファイルを間違って消去、編集することがないように保護することができます。保護されたファイルには、🔒(保護)マークが表示され、消去、編集ができない読み取り専用ファイルになります。

1 💬 (Voice)タブ、♫ (Music)タブの中から、保護したいファイルを表示する。

2 停止時に、メニュー → ✎(編集)タブ →「保護」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押して決定する。

「保護に設定しますか？」と表示されます。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、「実行」を選び、► (再生) ／決定ボタンを押す。

ファイルが保護されます。保護されたファイルには 🔒(保護)マークが表示されます。

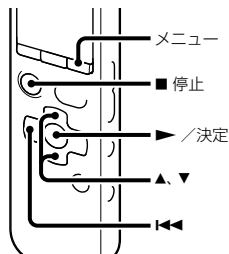
4 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

保護を解除するには

保護設定されたファイルを選び、手順2から手順4を実行します。ただし、手順2では「保護を解除しますか？」と表示されます。

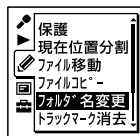
ご注意

◎ (Podcast)タブの中のファイルは保護設定できません。

メニューの使いかた

1 メニューボタンを押して、メニューモードに入る。

メニュー画面が表示されます。

2 コントロールボタンの I◄◄（早戻し）を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して 🎤（録音）、▶（再生）、✎（編集）、▤（表示）、🧰（本体設定）タブのいずれかを選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、設定したい項目を選び、►（再生）／決定ボタンを押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して設定し、►（再生）／決定ボタンを押す。

5 ■ 停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意

操作しない状態が60秒以上続くと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

1つ前の画面に戻るには

メニュー操作中にコントロールボタンの I◄◄（早戻し）を押します。

メニューモードを中止するには

■ 停止ボタンまたはメニューボタンを押します。

メニュー一覧

タブ	メニュー	動作モード（○：設定可能 －：設定不可）		
		停止中	再生中	録音中
（録音）	シーンセレクト編集	○	－	－
	録音モード	○	－	－
	録音感度	○	－	○
	LCF(Low Cut)	○	－	○
	リミッター	○	－	○
	追加/上書き	○	－	－
	プリレコーディング	○	－	－
	クロスメモリー録音	○	－	－
	VOR	○	－	○
	シンクロ録音	○	－	－
	外部入力選択	○	－	○
（再生）	ノイズカットレベル	○	○	－
	ノイズキャンセル*	○	○	－
	ボイスアップ	○	○	－
	エフェクト	○	○	－
	イージーサーチ	○	○	－
	再生モード	○	○	－
	アラーム	○	－	－

* ICD-SX813のみ

タブ	メニュー	動作モード（○：設定可能 －：設定不可）		
		停止中	再生中	録音中
（編集）	保護	○	－	－
	現在位置分割	○	－	－
	ファイル移動	○	○	－
	ファイルコピー	○	－	－
	フォルダ名変更	○	－	－
	トラックマーク消去	○	－	－
	トラックマーク全消去	○	－	－
	トラックマーク全分割	○	－	－
	フォルダ内消去	○	－	－
（表示）	カレンダー表示	○	－	－
	表示切り換え	○	○	○
	ランプ	○	－	－
	バックライト	○	－	－
（本体設定）	メモリー切り換え	○	－	－
	時計設定	○	－	－
	時刻表示形式	○	－	－
	操作音	○	－	－
	USB充電	○	－	－
	オートパワーオフ	○	－	－
	フォーマット	○	－	－

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（録音）	シーンセレクト編集	あらかじめ設定されているシーンセレクトのいろいろな録音設定メニュー項目を、お好みに編集します。シーンセレクトは、（会議）、（ボイスメモ）、（インタビュー）、（音楽）、（Myシーン）から選ぶことができます。 現在の設定値から編集：あらかじめメニューで設定されている設定値から変更します。 初期設定に戻す：お買い上げ時の設定値に変更します。 　実行：お買い上げ時の設定値に変更して処理を完了します。 　キャンセル：実行せずに処理を終了します。 編集：選択したシーンで設定されている設定値から変更します。 **ヒント** 編集できるメニュー項目は「録音モード」、「録音感度」（85ページ）、「LCF(Low Cut)」（85ページ）、「リミッター」（85ページ）、「VOR」（40ページ）、「シンクロ録音」（48ページ）、「外部入力選択」（47ページ、48ページ）です。「編集完了」を選択すると、処理を完了します。	32
	録音モード	音質などを設定します。 LPCM 44.1kHz/16bit：非圧縮ステレオ高音質録音 MP3 320kbps*：ステレオ高音質録音 MP3 192kbps：ステレオ標準録音 MP3 128kbps：ステレオ長時間録音 MP3 48kbps(MONO)：モノラル標準録音 MP3 8kbps(MONO)：モノラル長時間録音	–

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（録音）	録音感度	録音感度を設定します。 高：広い会議室での録音など、遠くの音や小さい音を録音するときに使用します。 中*：打合せスペースなど、比較的近い音を録音するときに使用します。 低：口述録音など、マイクを口元に近づけて録音したり、近くの音や大きい音を録音するときに使用します。 高（音楽）：音楽など楽器の特性を生かし、より高感度に録音できます。 低（音楽）：大きな音のバンド練習などで録音するのに適しています。 マニュアル MAN：録音レベルをお好みに設定して録音できます。	–
	LCF(Low Cut)	LCF（Low Cut Filter）機能を設定して、低い周波数の音をカットし、プロジェクターなどのノイズや風切り音を軽減することで音声をよりクリアに録音できます。 オン：LCF機能を有効にします。 オフ*：LCF機能を無効にします。	–
	リミッター	マニュアル録音時に突発的な大音量が入力した場合、音のひずみを防ぐために入力を自動的に調節します。 オン*：リミッター機能を有効にします。 オフ：リミッター機能を無効にします。 **ご注意** 「録音感度」が「マニュアル MAN」に設定されているときに有効です。	–

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（録音）	追加/上書き	追加録音、上書き録音を設定します。 追加：　追加録音を設定します。 上書き：上書き録音を設定します。 オフ*：追加録音と上書き録音を無効にします。	36、37
	プリレコーディング	録音を開始する前の0 ～ 5秒分の音をメモリーに保存することによって、● 録音／一時停止ボタンを押す0 ～ 5秒前の音から録音を開始することができます（プリレコーディング機能）。 オン：　プリレコーディング機能を有効にします。 オフ*：プリレコーディング機能を無効にします。	39
	クロスメモリー録音	現在選択されているメモリー（43ページ、44ページ）の残量が録音中になくなった場合に、もう一方のメモリーに自動的に切り換えて録音を継続する機能を設定します。続きの録音は新しいファイルとして保存されます。 オン：　クロスメモリー機能を有効にします。 オフ*：クロスメモリー機能を無効にします。現在選択されているメモリーの残量がなくなると録音を停止します。	45
	VOR	VOR（Voice Operated Recording）機能を設定します。 オン：　ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音を一時停止します。● 録音／一時停止ボタンを押して録音を始めると、VOR機能が働きます。 オフ*：VOR機能は働きません。	40
	シンクロ録音	2秒以上無音の部分が続いた場合、録音は一時停止状態になり、次に音を感知したところから新しいファイルとして録音します。 オン：　シンクロ録音機能を有効にします。 オフ*：シンクロ録音機能を無効にします。	48

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
(録音)	外部入力選択	マイクジャックから録音する外部入力を選択します。 MIC IN*： 外部マイクをつないだときに選びます。 Audio IN： オーディオケーブルなど、外部マイク以外のものをつないだときに選びます。	47、48
▶ (再生)	ノイズカットレベル	ノイズカット（54ページ）の効果を調節します。 強*： ノイズカットレベルを強くします。 弱： ノイズカットレベルを弱くします。「強」にして音声が聞き取りにくいときに選びます。	55
	ノイズキャンセル**	付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンを使用したときに、周囲の騒音を低減する機能を設定します。 オン/オフ： ノイズキャンセリング機能のオン、オフを設定します。 オン*：ノイズキャンセリング機能を有効にします。 オフ： ノイズキャンセリング機能を無効にします。 環境選択： 「オン/オフ」が「オン」に設定されている時の周囲の環境を選択します。 電車・バス*：主に電車、バスの騒音を効果的に低減します。 航空機： 主に航空機内の騒音を効果的に低減します。 室内： 主にオフィス、勉強部屋などのOA機器や空調機器の騒音を効果的に低減します。 ノイズキャンセル調整：付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンに搭載されているマイクの感度を、−15 ～ +15の31段階の値で調整します。お買い上げ時は、「0」設定になっています。	66

** ICD-SX813のみ

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
▶（再生）	ボイスアップ	聞き取りにくい小さな音を聞きやすい大きさに自動調節して再生する設定をします。 強：　ボイスアップ機能の効果を大きくします。 弱：　ボイスアップ機能の効果を小さくします。 オフ*：ボイスアップ機能を無効にします。	55
	エフェクト	再生する音楽によって適した効果を設定します。 ポップス：中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。 ロック：　低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。 ジャズ：　高域を強調した張りのある音質になります。 ベース1：低音が強調されます。 ベース2：低音が更に強調されます。 カスタム：0.4kHz、1.0kHz、2.5kHz、6.3kHzまたは16kHzの周波数帯のサウンドレベルを –3 ～ +3の7段階から、クリアベースを0 ～ +3の4段階から自由に設定できます。 オフ*：エフェクト機能を無効にします。 **ご注意** 内蔵スピーカーで再生しているとき、ノイズカット機能がオンになっているとき（54ページ）には、エフェクト機能は働きません。	57
	イージーサーチ	イージーサーチを設定します。 オン：　再生中、コントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押すと、約10秒進め、I◀◀（早戻し）を押すと、約3秒戻ります。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。 オフ*：イージーサーチ機能を無効にします。コントロールボタンの ▶▶I（早送り）または I◀◀（早戻し）を押すと、ファイルを早送り／早戻しします。	52

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
▶（再生）	再生モード	再生モードを設定します。 1： 1件ファイルを再生する。 📁*： フォルダ内のファイルを連続再生する。 ALL： 全ファイルを連続再生する ↻1： 1件ファイルをリピート再生する。 ↻📁：フォルダ内のファイルをリピート再生する。 ↻ALL： 全ファイルをリピート再生する。	59
	アラーム	アラーム再生を設定します。 新規： アラームを設定します。「新規」を選んだ後で、再生を始める日時や、曜日または毎日再生をする場合の時刻、および以下のアラームパターンを設定します。 ビープ&再生： ビープ音の後に選んだファイルを再生します。 ビープ： ビープ音のみを鳴らします。 再生： 選んだファイルのみを再生します。 アラーム一覧： 既に設定してある日付、時刻を表示します。 変更： 選んだ日付、時刻を変更します。 解除： 選んだ日付、時刻の設定を解除します。	61
✎（編集）	保護	ファイルを保護して、消去や分割、移動ができないようにします。 実行： ファイルを保護します。既に保護されているファイルを選んで実行した場合は、保護を解除します。 キャンセル： 保護あるいは保護解除を実行しません。	81
	現在位置分割	ファイルをふたつに分けます。 実行： 分割を実行します。 キャンセル： 分割を実行しません。	76

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
✎（編集）	ファイル移動	選んだファイルを選んだフォルダに移動します。 移動する前に、移動したいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	69
	ファイルコピー	内蔵メモリーで選んだファイルをメモリーカードの選んだフォルダにコピーします。またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。 コピーする前に、コピーしたいファイルを選んでから、メニューモードにしてください。	70
	フォルダ名変更	テンプレートを選択して、フォルダの名前を変更します。 会議*、打ち合わせ、講義、授業、音楽、歌、インタビュー、語学学習、旅行、野外、伝言、スケジュール、買い物リスト、To Do、ボイスメモ、FOLDER	79
	トラックマーク消去	現在位置のトラックマークを消去します。 実行：　トラックマーク消去を実行します。 キャンセル：　トラックマーク消去を実行しません。	74
	トラックマーク全消去	選んだファイルのすべてのトラックマークを消去します。 実行：　トラックマーク消去を実行します。 キャンセル：　トラックマーク消去を実行しません。	74
	トラックマーク全分割	選んだファイルのすべてのトラックマークの位置で分割します。 実行：　トラックマーク分割を実行します。 キャンセル：　トラックマーク分割を実行しません。	77
	フォルダ内消去	選んだフォルダの中身をすべて消去します。 消去する前に、□ボタンを押して消去したいフォルダに切り換えてから、メニューモードにしてください。 実行：　フォルダ内消去を実行します。 キャンセル：　フォルダ内消去を実行しません。	71

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
🗔（表示）	カレンダー表示	画面表示をカレンダーに切り換え、本機で録音したファイルを、カレンダーから検索して再生できます。 決定：選択したファイルを再生します。 戻る：選択したファイルを再生せず、カレンダー表示に戻ります。	53
	表示切り換え	表示モードを設定します。 経過時間*：1ファイルの経過時間 残り時間：停止／再生中は、1ファイルの残り時間、録音中は、録音可能時間 録音日付：録音した日付 録音時刻：録音した時刻	−
	ランプ	録／再ランプの点灯、消灯を設定します。 オン*：動作中は録／再ランプが点灯または点滅します。 オフ：動作中も録／再ランプは点灯／点滅しません。 **ご注意** パソコンに接続しているときは、「オフ」に設定していても録／再ランプは点灯／点滅します。	−
	バックライト	バックライトの点灯、消灯を設定します。 10秒*：操作をするとバックライトが10秒間点灯します。 60秒：操作をするとバックライトが60秒間点灯します。 常時：バックライトは常に点灯します。 オフ：バックライトが点灯しません。 **ご注意** 「常時」に設定すると、電池の寿命が短くなります。電池を使用する場合は、「常時」以外の設定をおすすめします。	−

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
（本体設定）	メモリー切り換え	録音したファイルを保存する、または再生、編集、コピーするファイルが保存されているメモリーを選びます。 内蔵メモリー*： 内蔵メモリーを使用します。 メモリーカード： 本機のメモリーカードスロットに挿入されているメモリーカードを使用します。 **ご注意** メモリーカードを取り出すと、自動的に内蔵メモリーが選択されます。	44
	時計設定	自動*： 本機をパソコンにつないで、Sound Organizerを起動すると、パソコンの時計に自動的に合わせます。 手動： 「年」「月」「日」「時」「分」をそれぞれ設定して時計を合わせます。	17
	時刻表示形式	時刻表示形式を設定します。 12時間： 12：00AM＝真夜中、12：00PM＝正午 24時間*：0：00＝真夜中、12：00＝正午	–
	操作音	確認音を設定します。 オン*： 操作時の受け付け確認音およびエラー時の操作音が鳴ります。 オフ： 操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません。 **ご注意** 「オフ」に設定していてもアラームは鳴ります。	–

タブ	メニュー	設定項目（*：初期設定）	参照ページ
(本体設定)	USB充電	USB接続中の充電のオン／オフを設定します。 オン*： 充電式電池を充電します。 オフ： 充電機能は働きません。 **ご注意** 別売のUSB ACアダプターを使って充電するとき（109ページ）は、この設定は関係ありません。	–
	オートパワーオフ	操作されないまま設定した時間がたつと、自動的に電源が切れます。 5分： 約5分後に電源が切れます。 10分*： 約10分後に電源が切れます。 30分： 約30分後に電源が切れます。 60分： 約60分後に電源が切れます。 オフ： 電源は自動的に切れません。	–
	フォーマット	現在選択されているメモリー（内蔵メモリーまたはメモリーカード）を初期化します。メモリー内のすべてのデータを消去し、フォルダ構成を初期状態に戻します。 実行： 「フォーマット中…」のアニメーションが表示され、初期化します。 キャンセル： 初期化しません。 **ご注意** • 本機で使うメモリーカードはパソコンでフォーマットしないでください。必ず本機で行ってください。 • あらかじめ初期化したいメモリーに切り換えてから（43ページ、44ページ）、フォーマットを実行してください。 • フォーマットをすると保存したすべてのデータが消去されます。一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。	–

パソコンにつないで使う

本機とパソコンを接続すると、ファイルのやり取りが行えます。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する（100ページ）

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する（101ページ）

USBメモリーとして使う（103ページ）

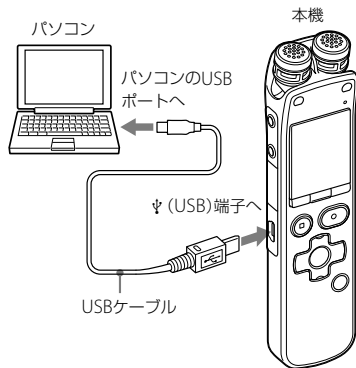
パソコンに保存されている画像やテキストファイルなどを一時的に保存することができます。

Sound Organizerでファイルを管理・編集する（104ページ）

付属のソフトウェアSound Organizerを使って、本機で録音したファイルをパソコンに取り込んで管理・編集したり、パソコンに保存されている音楽ファイルやポッドキャストを本機に転送したりできます。

パソコンに必要なシステム構成

パソコンに必要なシステム構成については、105ページ、114ページをご覧ください。

本機をパソコンに接続する

本機とパソコンでファイルをやり取りするためには、本機をパソコンに接続します。

1 本機の (USB)端子とパソコンのUSBポートを、付属のUSBケーブルで最後まで挿し込み接続する。

2 正しく認識されているかを確認する。

Windowsでは、「マイコンピュータ」または「コンピュータ」を開き、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」が新しく認識されているかを確認してください。
Macintoshでは、デスクトップに「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」という名前のドライブが表示されているかを確認してください。

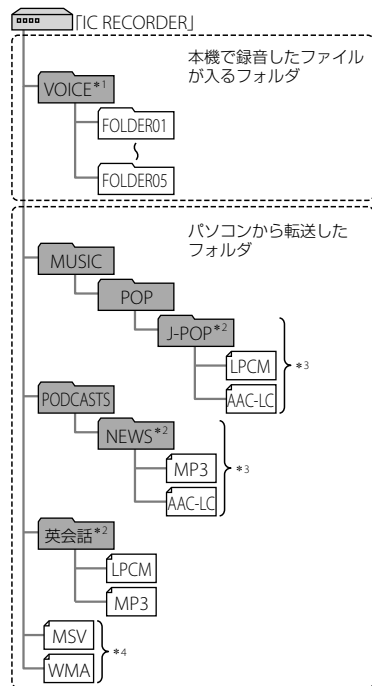
接続するとパソコン側で本機を認識することができ、ファイルのやり取りが行えます。
接続している間は本機の表示窓に「接続中」の表示が出ています。

ご注意

- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器を接続した場合の動作保証はいたしかねます。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず付属のUSBケーブルのみで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコン接続時は必ず電池を挿入してからお使いください。
- パソコンとは必要なときだけ接続することをおすすめします。パソコンを使って操作しないときは、本機ははずしておいてください。

フォルダとファイルの構成

本機をパソコンに接続すると、フォルダやファイルの構成をパソコンの画面で見ることができます。
WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」を開くと、フォルダやファイルを表示できます。
パソコンの画面で見ると、図のように表示されます。

内蔵メモリーの場合

*1 VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の (Voice)タブには表示されません。ファイルを転送するときは、VOICEフォルダ配下のフォルダ内にファイルを入れてください。

*2 音楽ファイルやポッドキャストが保存されたフォルダ名は本機でも同じフォルダ名として表示されます。管理しやすいフォルダ名にしておくと便利です。
(図は、フォルダ名称の例です。)

*3 音楽ファイルを認識できるのは、本機に転送したフォルダの8階層目までとなります。

*4 音楽ファイルを単独で転送すると「未分類」のフォルダとして扱われます。

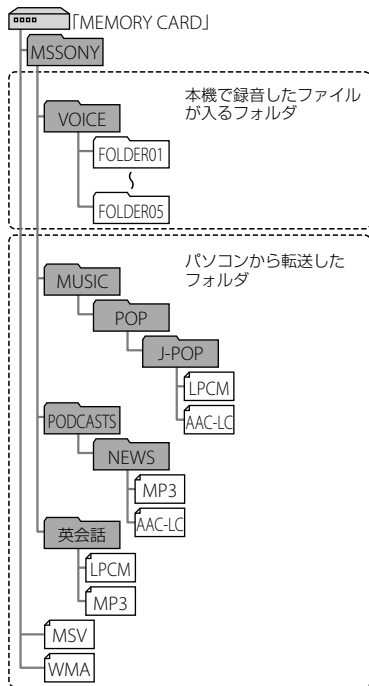
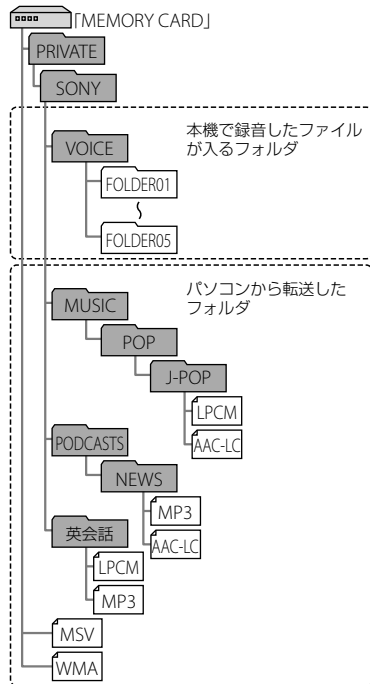
ヒント

- 本機では、音楽ファイルに登録されているタイトル名やアーティスト名などの情報を表示することができますので、音楽ファイルを作成するソフトやパソコンで情報を入力しておくと便利です。
- タイトル名またはアーティスト名が登録されていない場合は、本機では「Unknown」と表示されます。

本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えてから(43ページ、44ページ)パソコンに接続した場合、内蔵メモリーの場合とはフォルダの構成が異なります。

メモリースティック マイクロ™(M2™)の場合

microSDカードの場合

パソコンを活用する

本機で見たフォルダの構成

本機の表示窓で見たフォルダの構成は、パソコンで見た場合とは異なります。
フォルダの違いは、本機の表示窓に表示されるフォルダ表示で区別できます。

- ：本機で録音したファイルが入るフォルダ
- ：パソコンから転送したフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）
- ：パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダ（パソコンから転送したときに表示されます。）

ご注意

本機で再生できるファイルが入っていないフォルダは、本機では表示されません。

本機の (Voice)タブに表示されるフォルダ

本機で録音したファイルが入るフォルダ（VOICEフォルダ配下のフォルダ）が表示されます。

ご注意

VOICEフォルダ直下にファイルを転送しても、本機の (Voice)タブには表示されません。

本機の (Music)タブに表示されるフォルダ

パソコンから転送したフォルダのうち、以下のフォルダが表示されます。

- MUSICフォルダ配下のフォルダのうち、中にファイルを含むフォルダ（階層が深い場合は、全て並列に表示されます。）
- MUSICフォルダ配下またはPODCASTSフォルダ配下以外の場所に転送されたフォルダ
- 「未分類」フォルダ（単独で転送したファイルは、このフォルダ配下に表示されます。）

本機の ◎(Podcast)タブに表示されるフォルダ

パソコンから転送したポッドキャストファイルが入るフォルダが表示されます。
ポッドキャストファイルをパソコンから本機に転送する際は、付属のSound Organizerをご使用ください。

本機をパソコンから取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、データが破損するおそれがあります。

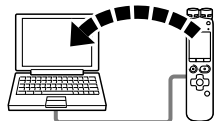
1 本機の録／再ランプが消えていることを確認する。

2 パソコンで下記の操作を行う。

Windowsの場合：
パソコンのデスクトップ下部で、以下のアイコンを左クリックしてください。

→[IC RECORDER の取り出し]を左クリックしてください。
アイコン、メニューの表示はOSの種類によって異なる場合があります。
Macintoshの場合：
デスクトップの「IC RECORDER」のアイコンをドラッグして、「ゴミ箱」アイコンの上にドロップしてください。
パソコンから取りはずす方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

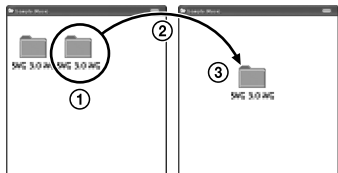
3 パソコンからUSBケーブルを取りはずす。

ファイルを本機からパソコンにコピーして保存する

本機にあるファイルやフォルダをパソコンにコピーして保存することができます。

1 本機をパソコンに接続する（94ページ）。

2 保存したいファイルやフォルダをパソコンにコピーする。

「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」に入っているファイルやフォルダをパソコンのローカルディスクにドラッグアンドドロップします。

ファイルやフォルダをコピーする（ドラッグアンドドロップ）

①コピーしたいフォルダをクリックしたまま、
②保存先まで移動（ドラッグ）して、
③はなす（ドロップ）

3 本機をパソコンから取りはずす（99ページ）。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーして再生する

パソコンに保存してある音楽(語学)ファイル(LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/LPEC(.msv)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)*)を本機にコピーして再生することができます。

* 本機で再生可能なファイル形式については、「主な仕様」(114ページ)をご覧ください。

パソコンにある音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップしてコピーする

1 本機をパソコンに接続する(94ページ)。

2 パソコン内の音楽ファイルが入っているフォルダを本機にコピーする。
WindowsではExplorerを使って、MacintoshではFinderを使って、音楽ファイルが入っているフォルダを「IC RECORDER」または「MEMORY CARD」ににドラッグアンドドロップします。
本機では最大400個のフォルダまで認識できます。1個のフォルダには最大199件のファイルを入れることができます。また、1つのメモリーに対して、フォルダとファイルを合計して最大4,095件まで認識できます。

3 本機をパソコンから取りはずす(99ページ)。

コピーした音楽ファイルを本機で再生する

1 (フォルダ)ボタンを押す。

2 コントロールボタンの ⏮(早戻し)を押した後、コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して ♫(Music)タブを選び、⏭(早送り)を押す。

3 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して、音楽ファイルを入れたフォルダ(▆)を選び、コントロールボタンの ▶▶I（早送り）を押す。

4 コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して再生したい音楽ファイルを選ぶ。

5 ►（再生）／決定ボタンを押して再生を始める。

6 再生を止めるには、■ 停止ボタンを押す。

パソコンにある音楽ファイルを本機に転送して再生する場合の最大再生時間（ファイル数*）は下記のようになります。

48 kbps	128 kbps	256 kbps
178時間0分 （2,670ファイル）	67時間5分 （1,006ファイル）	33時間30分 （502ファイル）

* 1ファイル4分のMP3ファイルを転送した場合

ご注意

- パソコンからコピーした音楽ファイルでは、再生はできますが、ファイルの分割、トラックマーク設定ができない場合があります。
- パソコンを使って、本機にコピーした音楽ファイルは、システムの制約によりコピー順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機にコピーすると、表示、再生の順番をコピー順に合わせることができます。

音楽再生時の画面表示について

コントロールボタンの ▲ または ▼ を押して再生中の音楽ファイルの情報を確認することができます。

▆ ：フォルダ名を表示
🗋 ：ファイル名を表示
👤 ：アーティスト名を表示
♫ ：タイトル名を表示

USBメモリーとして利用する

本機とパソコンをUSB経由で接続すると、パソコン上にある本機で録音したファイル以外の画像やテキストなどのファイルを本機に一時保存できます。
USBメモリーとして使うためには、一定の条件を満たしたシステム構成のパソコンが必要です。
OSの条件については、「必要なシステム構成」(114ページ)をご覧ください。

付属のSound Organizerを使う

Sound Organizerでできること

Sound Organizerでは、本機やメモリーカードとファイルのやりとりができます。また、音楽CDなどから取り込んだ楽曲、パソコンから取り込んだMP3などの音声ファイルやポッドキャストを再生したり、本機に転送したりできます。取り込んだファイルは、再生、編集、MP3ファイルなどへの変換など、さまざまな操作ができます。また、お好みの音楽CDを作成したり、音声ファイルをメールで送信することができます。
使用方法の詳細はSound Organizerのヘルプをご覧ください。

本機で録音したファイルを取り込む

本機で録音した音声ファイルをSound Organizerに取り込めます。
取り込んだファイルはパソコンに保存されます。

音楽CDから楽曲を取り込む

音楽CDの楽曲をSound Organizerに取り込みます。
取り込んだ楽曲はパソコンに保存されます。

パソコン上のファイルを取り込む

パソコン上に保存されている音楽などのファイルをSound Organizerに取り込めます。

ポッドキャストを登録／更新する

Sound Organizerにポッドキャストを登録します。
ポッドキャストを登録／更新すると、インターネットから最新のデータをダウンロード（購読）して楽しむことができます。

ファイルを再生する

Sound Organizerに取り込んだファイルを再生します。

ファイルの曲情報を変更する

ファイル一覧に表示されるタイトル名、アーティスト名などの曲情報を変更します。

ファイルを分割する

1つのファイルを複数のファイルに分割します。

ファイルを結合する

複数のファイルを1つのファイルに結合します。

本機からファイルを削除する
本機に保存されているファイルを削除できます。
本機の空き容量を増やしたい場合や、不要なファイルがある場合などは、この操作で本機内のファイルを削除してください。

本機に転送する
Sound Organizerから本機やメモリーカードにファイルを転送します。
転送された音楽やポッドキャストなどを本機で楽しむことができます。

音楽CDを作成する
Sound Organizerに取り込んだ楽曲からお好みの楽曲を選んで、自分だけのオリジナル音楽CDを作成します。

その他の便利な使いかた
- メールソフトウェアを起動して、録音した音声ファイルを添付してメールで送信できます。
- Sound Organizerに対応した音声認識ソフトウェア「Dragon NaturallySpeaking」（別売）を使って、ファイルを音声認識して文字に変換できます。

パソコンに必要なシステム構成

Sound Organizerを使用するためには、以下の環境が必要です。

OS
- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Starter（32ビット版）
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2 以降
- Windows Vista Business Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2 以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2 以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3 以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3 以降
- Windows XP Professional Service Pack 3 以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3 以降

標準インストール（日本語版のみ）

ご注意
- 上記以外のOSは動作保証いたしません。
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。

以下の性能を満たしたIBM PC/ATおよびその互換機

- CPU
  Windows XP：Pentium III プロセッサー 500 MHz以上
  Windows Vista：Pentium III プロセッサー 800 MHz以上
  Windows 7：Pentium III プロセッサー 1 GHz以上
- メモリー
  Windows XP：256 MB以上
  Windows Vista：512 MB以上（Windows Vista Ultimate/Business/Home Premiumの場合は1 GB以上推奨）
  Windows 7：1 GB以上（32ビット版）／ 2 GB以上（64ビット版）
- ハードディスクの空き容量
  400 MB以上
  Windowsのバージョンによってはそれ以上使用する場合があります。
  また、音楽データを扱うための空き容量がさらに必要です。
- ディスプレイの設定
  画面の解像度：800×600ピクセル以上（1,024×768ピクセル推奨）
  画面の色：High Color（16ビット）以上
- サウンドボード
  SoundBlaster互換推奨
- USBポート
  機器・メディアをご使用になるには、使用可能なUSBポートが必要です。
  USBハブにて拡張されたUSBポートは特別に動作保証された機種以外での動作の保証はいたしません。

Sound Organizerをインストールする

Sound Organizerをパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意

- Sound Organizerをインストールするときは、Administrator（管理者）権限でログオンしてください。
  また、Windows 7をお使いで「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、内容をご確認の上、[はい]（Windows Vistaの場合は[続行]）をクリックしてください。
- Windows XPの制限ユーザーでは、Sound Organizerを起動できません。
- Windows XPでソフトウェアのアップデート機能を使うには、コンピューターの管理者としてログオンする必要があります。
- Sound OrganizerのインストールによってWindows Media Format Runtimeのモジュールが追加されます。
  Sound Organizerをアンインストールした場合でも、このモジュールは削除されません。
  ただし、プリインストールされている場合にはインストールされないことがあります。

- Sound Organizerをアンインストールした場合にも、コンテンツ格納先フォルダー内のデータは消えません。
- 1台のパソコンに複数のオペレーティングシステムをインストールした環境では、それぞれのオペレーティングシステムにSound Organizerをインストールしないでください。データの不整合が生じる場合があります。

1 本機を接続していないことを確認し、パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

CD-ROMを入れると「Sound Organizerのインストール」が自動的に起動し「Sound Organizer インストーラーへようこそ」の画面が表示されます。
起動しない場合は、WindowsエクスプローラでCD-ROMドライブを右クリックして開き、「SoundOrganizerInstaller.exe」をダブルクリックして、画面の指示に従って操作してください。

3 使用許諾契約の内容を確認したら、「使用許諾契約に同意します」を選び、「次へ」をクリックする。

4 「インストールの種類」の画面が表示されたら、お好みで「標準」、「カスタム」のいずれかを選び、「次へ」をクリックする。

「カスタム」を選んだ場合は、画面の指示に従い、インストール設定を行ってください。

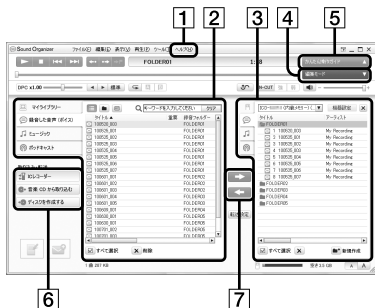
5 「インストールの開始」の画面が表示されたら、「インストール」をクリックする。

インストールが始まります。

6 「Sound Organizerは正常にインストールされました」の画面が表示されたら、「Sound Organizerを今すぐ起動する」をチェックし、「終了」をクリックする。

ご注意

Sound Organizerのインストール後、パソコンの再起動が必要になることがあります。

Sound Organizerの基本操作について

1 ヘルプ
Sound Organizerのヘルプを表示します。各操作の詳細はヘルプを参照してください。

2 Sound Organizerファイル一覧（マイライブラリー）
Sound Organizerのマイライブラリーに含まれるファイルの一覧を、操作に合わせて表示します。
録音した音声（ボイス）：録音した音声ファイルの一覧を表示します。
本機で録音したファイルを取り込むと、このライブラリーに表示されます。
ミュージック：音楽ファイルの一覧を表示します。
音楽CDから楽曲を取り込むと、このライブラリーに表示されます。
ポッドキャスト：ポッドキャストの一覧を表示します。

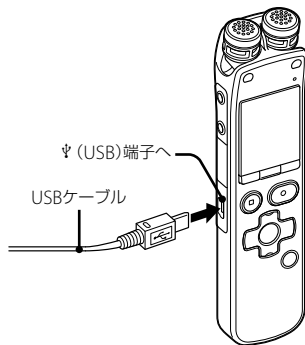
3 ICレコーダーファイル一覧
パソコンに接続している本機またはメモリーカードに保存されているファイルが表示されます。

4 編集モードボタン
編集エリアを表示して、ファイルを編集できます。

5 かんたん操作ガイドボタン
Sound Organizerの基本的な機能をガイドする、「かんたん操作ガイド」を表示します。

6 サイドバー（取り込み・転送）
ICレコーダー：転送画面を表示します。接続機器内のファイル一覧が表示されます。
音楽CDから取り込む：音楽CDの取り込み画面を表示します。
ディスクを作成する：ディスク作成画面を表示します。

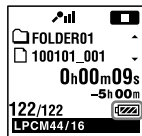
7 ファイル転送ボタン
：Sound Organizerのファイルを本機またはメモリーカードに転送します。
：本機・メモリーカードのファイルをSound Organizerのマイライブラリーに取り込みます。

USB ACアダプターにつないで使う

USB ACアダプター AC-U501AD（別売）を使って、本機と家庭用電源（コンセント）をつないで充電式電池を充電できます。充電をしながら本機を使用することができるため、長時間録音をする場合などに便利です。
はじめてお使いになる場合や、しばらくお使いにならなかった場合は、電池マークが「FULL」になるまで連続して充電してください。電池を使いきった状態から約4時間で充電が完了します。*

1 別売のUSB ACアダプターをコンセントにつなぐ。

2 付属のUSBケーブルにUSB ACアダプターをつなぐ。

3 本機の（USB）端子にUSBケーブルをつなぐ。

充電中は、電池マークがアニメーション表示されます。
充電しながら本機を使うことができます。

* 室温で電池残量が無い状態から電池を充電したときの目安です。電池の残量や電池の状態などにより、上記の充電時間と異なる場合があります。また、充電式電池の温度が低い場合や、データを本機に転送中なども充電時間は長くなります。

ご注意

- 内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
- 単4形アルカリ乾電池（別売）は充電できません。

本機を取りはずす

必ず下記の手順で取りはずしてください。この手順で行わないと、本機にデータが入っている場合に、データが破損して再生できなくなるおそれがあります。

1 録音や再生などの動作中の場合、■ 停止ボタンを押して動作を停止する。

2 録／再ランプが消えていることを確認する。

3 本機をUSB ACアダプターから取りはずし、USB ACアダプターをコンセントから抜く。

ご注意

- 録音中（録／再ランプが赤に点灯、点滅）やアクセス中（録／再ランプがオレンジに点滅）はコンセントにつないだ状態のUSB ACアダプターから本機を抜き挿ししたり、本機を接続したUSB ACアダプターをコンセントから抜き挿ししたりしないでください。データが破損するおそれがあります。また、ファイル数が多いと、起動画面が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
- USB ACアダプター（別売）使用時は、電池残量表示は表示されません。

使用上のご注意

ご使用場所について

運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 温度が非常に高いところ(60℃以上)。
  - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  - 窓を閉めきった自動車内(特に夏期)。
  - 風呂場など湿気の多いところ。
  - ほこりの多いところ。
- 水がかからないようご注意ください。本機は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
  - 洗面所などで本機をポケットに入れての使用。
    身体をかがめたときなどに、落として水濡れの原因になる場合があります。
  - 雨や雪、湿度の多い場所での使用。
  - 汗をかく状況での使用。
    濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに本機を入れると、水濡れの原因になることがあります。
- 空気が乾燥する時期にヘッドホンを使用すると、耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、ヘッドホンの故障ではなく、人体に蓄積された静電気によるものです。静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、軽減されます。
- イヤーピースは長期の使用・保存により劣化するおそれがあります。(ICD-SX813のみ)

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

お手入れ

- 本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

- イヤーピースをお手入れするときは、ヘッドホンからイヤーピースをはずし、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよく拭いてからご使用ください。（ICD-SX813のみ）

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、本機の故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ずパソコンなどにバックアップしてください。

メモリーカードのご使用について

ご注意

- フォーマット（初期化）は必ず本機で行ってください。パソコンなど本機以外の機器を用いてフォーマットしたメモリーカードは、本機での動作を保証しません。
- すでにデータが書き込まれているメモリーカードをフォーマットすると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。
- メモリーカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 録音／再生／フォーマット中は、メモリーカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 表示窓に「アクセス中...」のアニメーションが表示されている間や、アクセスランプがオレンジに点滅している間はメモリーカードを取り出さないでください。データが破損するおそれがあります。
- 対応仕様のメモリーカードでも、すべてのメモリーカードでの動作を保証するものではありません。
- M2™の対応表については、http://www.sony.jp/products/ms/compatible/icrecorder.html をご覧ください。
- "MagicGate™"（マジックゲート）は、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。本機は、MagicGate™によるデータ録音、再生には対応していません。
- 本機はパラレルデータ転送には対応していません。
- ROMタイプのメモリーカード、誤消去防止、書込み禁止のメモリーカードは、ご使用になれません。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- お客様の記録したデータの破損（消滅）については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- 端子部には手や金属などを触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。

- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用はしないでください。
  - 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
- ご使用の際は正しい挿入方向をご確認ください。

主な仕様

必要なシステム構成

Sound Organizerを使う場合

付属のSound Organizerをお使いの場合は、105ページをご覧ください。

Sound Organizerを使わない場合

Sound Organizerを使わずにパソコンと接続する場合や、USBメモリーとして使う場合に必要なシステム構成は以下の通りです。

OS

- Windows 7 Ultimate
- Windows 7 Professional
- Windows 7 Home Premium
- Windows 7 Home Basic
- Windows 7 Starter
- Windows Vista Ultimate Service Pack 2以降
- Windows Vista Business Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Premium Service Pack 2以降
- Windows Vista Home Basic Service Pack 2以降
- Windows XP Media Center Edition 2005 Service Pack 3以降
- Windows XP Media Center Edition 2004 Service Pack 3以降
- Windows XP Professional Service Pack 3以降
- Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
- Mac OS X（v10.2.8-v10.6）

標準インストール(日本語版のみ)

ご注意

- 左記以外のOSは動作保証いたしません。（Windows 98/2000/Linuxなど）
- Windows XPについては、64ビット版のOSは動作保証いたしません。
- 最新の対応OSについては、ICレコーダーカスタマーサポートページ http://www.sony.jp/support/ic-recorder をご覧ください。

以下の性能を満たしたWindowsコンピューターまたはMacintosh

- サウンドボード：各OSに対応したもの
- USBポート

ご注意

推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。また、自作パソコンなどへお客様自身がインストールしたものや、NEC PC-98シリーズとその互換機、アップグレードしたもの、マルチブート環境、マルチモニタ環境での動作保証はいたしません。

本機の仕様

容量（ユーザー使用可能領域）
4 GB（約3.60 GB = 3,865,470,566 Byte）

メモリー容量の一部をデータ管理領域として使用しています。

周波数範囲
LPCM 44.1kHz/16bit：40 Hz ～ 20,000 Hz
MP3 320kbps：40 Hz ～ 16,000 Hz
MP3 192kbps：40 Hz ～ 16,000 Hz
MP3 128kbps：40 Hz ～ 16,000 Hz
MP3 48kbps(MONO)：40 Hz ～ 14,000 Hz
MP3 8kbps(MONO)：50 Hz ～ 2,000 Hz

MP3対応ビットレート、サンプリング周波数＊1
ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：
16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
拡張子：.mp3

＊1 これに加えて本機の各録音モードで録音したMP3ファイルの再生にも対応しています。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

WMA対応ビットレート、サンプリング周波数＊2
ビットレート：32 kbps ～ 192 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：44.1 kHz
拡張子：.wma

＊2 WMA Ver.9に準拠していますが、MBR（Multi Bit Rate）、Lossless、Professional、Voiceには対応していません。
著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのエンコーダーに対応しているわけではありません。

AAC-LC対応ビットレート、サンプリング周波数＊3
ビットレート：16 kbps ～ 320 kbps、
可変ビットレート（VBR）対応
サンプリング周波数：
11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48 kHz
拡張子：.m4a

＊3 著作権保護されたファイルは再生できません。すべてのAACエンコーダーに対応しているわけではありません。

リニアPCM対応サンプリング周波数、ビット
サンプリング周波数：22.05/44.1 kHz
ビット：16ビット
拡張子：.wav

ノイズキャンセリング機能（ICD-SX813のみ）
デジタルノイズキャンセリング機能対応
環境選択：電車・バス／航空機／室内

総騒音抑制量（TNSR）＊4（ICD-SX813のみ）
約17 dB

＊4 当社規定の航空機シミュレートノイズ下における、「環境選択」を「航空機」に設定時とヘッドホン非装着時との比較による値。総騒音抑制量（当社測定法による）約17 dBは音のエネルギーで約98.0%の騒音低減に相当。

スピーカー
直径16 mm

入・出力端子
外部入力（ステレオミニジャック）
プラグインパワー対応
最小入力レベル：1.5 mV

ヘッドホン(ステレオミニジャック)
負荷インピーダンス:8 Ω～ 300 Ω
USB端子(USB mini-B端子)
High-Speed USB対応
メモリースティック マイクロ™(M2™)／
microSD対応スロット

再生スピード調節(DPC)
3倍速～ 0.25倍速

実用最大出力
150 mW

電源
DC2.4 V、単4形充電式ニッケル水素電池(付属)
2本
DC3.0 V、単4形アルカリ乾電池(別売)2本

動作温度
5℃～ 35℃

最大外形寸法
約32.4 mm×137.8 mm×16 mm
(幅/高さ/奥行き)(JEITA*5)

質量
約92 g(充電式ニッケル水素電池2本含む)
(JEITA*5)

*5 電子産業技術協会(JEITA)の測定方法に基づいています。

付属品
9ページ参照

別売アクセサリー
メモリースティック マイクロ™(M2™)
MS-A8GDP、MS-A4GDP
microSD/microSDHC SR-8A4、SR-4A4、
SR-2A1
アクティブスピーカー SRS-M50
エレクトレットコンデンサーマイクロホン
ECM-CS10、ECM-TL1
オーディオコード RK-G136、RK-G139
充電式ニッケル水素充電池単4形
NH-AAA-2BKB
USB ACアダプター AC-U501AD
ニッケル水素電池専用充電器 BCG34HSS

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

最大録音時間*6*7

最大録音時間は、全フォルダ合わせて表のとおりです。

録音モード	録音シーン*8	内蔵メモリー	メモリーカード				
		ICD-SX713 ICD-SX813	2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
LPCM 44.1kHz/16bit	(音楽) (Myシーン)	6時間 0分	3時間 0分	6時間 0分	12時間 5分	24時間 15分	48時間 40分
MP3 320kbps		26時間 45分	13時間 20分	26時間 45分	53時間 40分	107時間 0分	214時間 0分
MP3 192kbps	(会議) (インタビュー)	44時間 40分	22時間 20分	44時間 40分	89時間 25分	178時間 0分	357時間 0分
MP3 128kbps	(ボイスメモ)	67時間 5分	33時間 30分	67時間 5分	134時間 0分	268時間 0分	536時間 0分
MP3 48kbps(MONO)		178時間 0分	89時間 25分	178時間 0分	357時間 0分	715時間 0分	1,431時間 0分
MP3 8kbps(MONO)		1,073時間 0分	536時間 0分	1,073時間 0分	2,147時間 0分	4,294時間 0分	8,589時間 0分

*6 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは電池の持続時間（118ページ）をご確認ください。

*7 表記の最大録音時間は目安です。カードの仕様によって変わることがあります。

*8 お買い上げ時の設定です。

電池の持続時間

充電式電池の持続時間*[1]（ソニー充電式ニッケル水素電池NH-AAAを連続使用時）

録音モード	**録音時**	**スピーカー再生時***[2]	**ヘッドホン再生時（ICD-SX713）**	**ヘッドホン再生時（ノイズキャンセリング機能：オフ）（ICD-SX813）**	**ヘッドホン再生時（ノイズキャンセリング機能：オン）（ICD-SX813）**
LPCM 44.1kHz/16bit	約19時間	約16時間	約22時間	約18時間	約15時間
MP3 320kbps	約17時間	約16時間	約22時間	約18時間	約15時間
MP3 192kbps	約17時間	約16時間	約22時間	約18時間	約15時間
MP3 128kbps	約17時間	約16時間	約22時間	約18時間	約15時間
MP3 48kbps(MONO)	約19時間	約16時間	約22時間	約18時間	約15時間
MP3 8kbps(MONO)	約19時間	約16時間	約22時間	約18時間	約15時間
音楽ファイル（128kbps/44.1kHz）	–	約16時間	約22時間	約18時間	約15時間

乾電池の持続時間[*1]（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）を連続使用時）

録音モード	録音時	スピーカー再生時[*2]	ヘッドホン再生時（ICD-SX713）	ヘッドホン再生時（ノイズキャンセリング機能：オフ）（ICD-SX813）	ヘッドホン再生時（ノイズキャンセリング機能：オン）（ICD-SX813）
LPCM 44.1kHz/16bit	約25時間	約21時間	約30時間	約24時間	約19時間
MP3 320kbps	約22時間	約21時間	約30時間	約24時間	約19時間
MP3 192kbps	約22時間	約21時間	約30時間	約24時間	約19時間
MP3 128kbps	約22時間	約21時間	約30時間	約24時間	約19時間
MP3 48kbps(MONO)	約25時間	約21時間	約30時間	約24時間	約19時間
MP3 8kbps(MONO)	約25時間	約21時間	約30時間	約24時間	約19時間
音楽ファイル（128kbps/44.1kHz）	–	約21時間	約30時間	約24時間	約19時間

*1 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用条件によって短くなる場合があります。

*2 音量レベルを20に設定し、内蔵スピーカーで音楽を再生した場合。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

ソニーの相談窓口(裏表紙)、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のICレコーダー・カスタマーサポートページをご覧いただくか、ソニーの相談窓口(裏表紙)までお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、120ページをご参照願います。
修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

こんなときは(本機)

症状	原因/処置
雑音が入る。	• 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 • 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 • 外部マイク(別売)で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • ヘッドホンで聞いているとき、ヘッドホンのプラグが汚れている。 → プラグをきれいにクリーニングする。 • MP3録音時の一時停止、VOR録音、シンクロ録音、上書き/追加録音のつなぎ目でもノイズが入ることがあります。 • 静かな場所でノイズキャンセリング機能をオンにしている。(ICD-SX813のみ) → 静かな場所や周囲の騒音の種類によってはノイズが大きくなると感じる場合があります。その際はノイズキャンセリング機能をオフにしてください(66ページ)。なお、付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンは、屋外や電車内など騒音の多い場所でノイズキャンセリング効果を最大限に生かすために、ヘッドホンの音圧感度を大幅に高めています。そのため、ノイズキャンセリング機能をオフにしても静かな場所ではかすかなホワイトノイズが聞こえる場合があります。

症状	原因／処置
パソコンで充電できない。	• 起動しないパソコンに接続しても充電できません。 • パソコンが起動していても、休止状態（スタンバイ、スリープ）のときは充電できません。 • メニューで「USB充電」が「オフ」になっている。 → パソコンに接続して充電する場合は、設定を「オン」にする（93ページ）。 • パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（114ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。
充電表示が表示されない、または途中で消えてしまう。	• 充電式電池が入っていないか、充電式電池以外の電池（アルカリ電池、マンガン電池など）が入っている。 • 充電式電池を入れる向きが正しくない。 • ニッケル水素以外の充電式電池が入っている。 • 劣化した充電式電池を使用している。 → 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換してください。 • USBケーブルが正しく接続されていない。 • メニューで「USB充電」が「オフ」になっている。パソコンに接続して充電する場合は、設定を「オン」にする（93ページ）。 • 内蔵スピーカーで再生中は充電できません。
電源が切れない。	• 停止中に電源／ホールドスイッチを「電源」の方向へ2秒以上スライドする（16ページ）。
電源が入らない。	• 電源がオフになっている。 → 電源／ホールドスイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドする（16ページ）。 • 電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない（13ページ）。
電源が自動的に切れる。	• 停止状態で操作をしないまま放置していると、「オートパワーオフ」機能が働きます。（お買い上げ時は、設定は10分になっています。）メニューでオートパワーオフ設定を変更すると、電源オフまでの時間を変更できます（93ページ）。
正常に動作しない。	• 電池を取り出して、もう一度入れ直す。
起動に時間がかかる。	• ファイル数が多いと、起動するのに時間がかかることがありますが、故障ではありません。停止画面になるまでお待ちください。
本機が動作しない。	• パソコンで初期化（フォーマット）している。 → 本機で初期化を行ってください（93ページ）。

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない。	• 電池が消耗している（15ページ）。 • 電源がオフになっている。 → 電源／ホールドスイッチを「電源」の方向へ1秒以上スライドする（16ページ）。 • ホールドがオンになっている。 → 電源／ホールドスイッチを中央位置にスライドする（12ページ）。
スピーカーから音が出ない。	• 音量が絞られている（25ページ）。 • ヘッドホンをつないでいる（52ページ）。
ヘッドホンをつないでいても、スピーカーから音が出る。	• 再生中にヘッドホンを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 → いったんヘッドホンを抜いて、最後までしっかり差し込む。
録／再ランプが点灯しない。	• メニューの「ランプ」が「オフ」に設定されている。 → 「オン」に切り換える（91ページ）。
「メモリーが一杯です」のアニメーションが表示され、録音できない。	• メモリーがいっぱいになっている。 → 不要なファイルを消去する（29ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
「ファイルが一杯です」のアニメーションが表示され、操作できない。	• 選んだフォルダ（）に199件のファイルが入っているか、または、全体で4,074件のファイル（フォルダが21個のとき）が入っているため、録音やファイル移動ができない。 → 不要なファイルを消去する（29ページ）か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。
録音できない。	• 録音残り時間が不足している場合は録音できません。 • 再生専用エリアの (Music)タブ、 (Podcast)タブで管理されているフォルダには録音できません。

症状	原因／処置
再生音量が小さい。	• 音量が絞られている。 → 音量－／＋ボタンを押して音量を調節する（25ページ）。 • シーンセレクトが（ボイスメモ）になっている。 → 録音状況にあったシーンセレクトにする（31ページ）。 • 録音感度が「低」または「低(音楽)」になっている。 →「高」、「中」、「高(音楽)」のいずれかに切り換える（85ページ）。 • 録音感度が「マニュアル MAN」のときは、コントロールボタンの⏮（早戻し）または⏭（早送り）を押して録音レベルを調節してください（35ページ）。 • 小さな音が聞きづらいときは、デジタルボイスアップ再生をすると聞き取りやすくなる場合があります（55ページ）。
入力される音が歪む。	• 入力される音に入力過多な部分がある。 → メニュー項目の「リミッター」を「オン」に設定する（85ページ）。
追加、または上書き録音できない。	• メニューの「追加/上書き」が「オフ」になっているとできません。設定し直してください（86ページ）。 • 録音残り時間が不足している場合は追加、または上書き録音できません。なお、上書き録音の場合、上書きされる部分は新たに録音される部分の録音が終わってから消去されるため、録音できるのは現在の残り録音可能時間分のみです。 • 本機で録音していないファイルには追加／上書き録音できません。 • 再生専用エリアの（Music）タブ、（Podcast）タブで管理されているファイルは追加、または上書き録音できません。
録音が途中で止まる。	• VORが作動している。VORを使用しないときは、メニューで「オフ」にする（40ページ）。
VOR機能が働かない。	• マニュアル録音やシンクロ録音では、VOR機能は働きません。
他の機器から録音するとき、録音レベルが小さすぎたり大きすぎたりする。	• 他の機器のヘッドホン端子を使って本機と接続し、つないだ機器側で音量を調節してください。

症状	原因／処置
ノイズキャンセリング機能の効果が得られない。 （ICD-SX813のみ）	• ノイズキャンセリング機能をオフにしている。 →「ノイズキャンセル」の「オン/オフ」を「オン」にしてください(66ページ)。ノイズキャンセリング機能が有効なときは、画面に NC が表示されます。 • 付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンを装着していない。 → 付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンを使用してください。 • 付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンを正しく装着していない。 → イヤーピースを交換したり、おさまりのよい位置にするなど、ぴったりと耳に装着させるようにしてください(65ページ)。イヤーピースがはずれて耳に残らないよう、イヤーピースを交換する際には、ヘッドホンにしっかり取り付けてください(11ページ)。 • ノイズキャンセル調整が適切に設定されていない可能性がある。 → 本機は、ノイズキャンセリング機能の効果が最も得られるようにあらかじめ設定されていますが、ノイズキャンセリング機能用ヘッドホンに搭載されているマイクの感度を上げる(または下げる)ことで、さらに効果が得られる場合があります。ノイズキャンセル調整をし直してください(68ページ)。 • 静かな場所で使用している。 → 静かな場所や、周囲の騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング機能の効果が感じられないことがあります。 •「環境選択」で設定しているデジタルフィルターの種類が、周囲の環境と合っていない。 → 周囲の環境に合わせて「環境選択」の設定を選んでください(67ページ)。
ヘッドホンを抜き差しするとノイズが聞こえる。 （ICD-SX813のみ）	• 付属のノイズキャンセリング機能用ヘッドホンの本体からの抜き差しは、ヘッドホンを耳からはずして行ってください。音楽を再生した状態や、ノイズキャンセリング機能が働いたままでヘッドホンを抜き差しするとヘッドホンからノイズが発生しますが、故障ではありません。
再生音が大きくなったりする。	• ボイスアップ設定が「強」または「弱」になっている。設定を「オフ」にする(55ページ)。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	• DPC（速度）/KEY CTRLスイッチが「入」になっているため、コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）で調節した再生スピードで再生されている。 → DPC（速度）/KEY CTRLスイッチを「切」にすると、通常の速度で再生されます。または、コントロールボタンの ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）で再生スピードを調節してください(56ページ)。

症状	原因／処置
ファイルを分割できない。	• メモリーに一定の空き容量がない。 • 選んだフォルダ(□)に199件のファイルが入っている。 → 不要なファイルを消去する(29ページ)か、別のメモリーもしくはパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。 • システムの制約により、ファイルのはじめと終わりでファイル分割できないことがあります。 • 本機で録音されたファイル以外(パソコンから転送したファイル)は、分割できません。
メモリーカードが認識されない。	• メモリーカード内の別ファイル(画像データなど)によって、初期フォルダを作成するために必要な容量が不足しています。Windowsのエクスプローラまたは Macintoshのデスクトップなどから不要なデータを消去するか、本機でメモリーカードの初期化を行ってください。 • 本機のメモリーを「メモリーカード」に切り換えてください(43ページ、44ページ)。 • メモリーカードを取り出し、裏表を確認して再度入れ直してください。
時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない(17ページ)。
録音日時表示が「--y--m --d」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていないときに録音したファイルには、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、録音中は、表示されないメニューがあります(83ページ)。
本機に表示される残り時間が、パソコン上での残量表示より短い。	• 本機ではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、Sound Organizerでの残量表示と異なる場合があります。
電池の持続時間が短い。	• 118ページの電池の持続時間は、音量レベルを20で再生した場合の目安です。使用条件によって短くなる場合があります。
電池を入れたまま長い期間使用しない後で、使おうとすると電池がなくなっている。	• 使用しない場合でも、わずかですが電池を消耗します。長い間ご使用にならない場合は、こまめに電源を切る(16ページ)か、電池をはずしておくことをおすすめします。また、オートパワーオフ設定(93ページ)時間を短くしておくと切り忘れでの電池の消耗を抑えることができます。

症状	原因／処置
充電完了後、長い期間USB ACアダプターにつないだままにすると、はずしたときに電池がなくなっている。	• 一度充電完了したあとは、つないだままにしていても自動的に再充電は行いません。USB ACアダプターにつないでいる間は本機を使用することができますが、はずしたあとは再充電してください。
電池残量、充電表示部に COLD または HOT が点滅表示している。	• 本機の充電可能な温度範囲外になっている。周囲温度が動作温度（5℃～ 35℃）になるようにする。
充電式電池の持続時間が短い。	• 5℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 • しばらく使用していなかった。何回か充電、放電（本機に入れて使用する）を繰り返す。 • 充電式電池の交換が必要です。新しい充電式電池と交換する。 • 短時間で電池残量表示が点灯しますがフル充電になっていません。電池残量が無い状態からフル充電までは約4時間かかります。
変更したメニュー設定が反映されていない。	• 設定変更直後に電池が抜かれたり、電池残量が無い状態でSound Organizerの「本体設定」を使ってメニューの設定を変更した場合、本機のメニュー設定が反映されないことがあります。
フォルダ名やファイル名が文字化けしてしまう。	• WindowsのエクスプローラまたはMacintoshのデスクトップを使ってパソコンで名前を入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
「アクセス中...」のアニメーション表示が消えない。	• ファイル数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
ファイルコピーに時間がかかる。	• ファイルサイズによっては、コピーに時間がかかることがあります。実行が終わるまでお待ちください。
本機に転送したファイルが表示されない。	• 表示できるファイルは8階層目までです。 • 本機で対応しているLPCM(.wav)/MP3(.mp3)/LPEC(.msv)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)以外のファイルは、表示されない場合があります。本機の仕様をご確認ください（115ページ）。

症状	原因／処置
パソコンで認識しない。 パソコンからフォルダ、ファイルが転送できない。	• パソコンから本機をはずし、再度接続してください。 • 付属のUSBケーブル以外のUSBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合は、本機を付属のUSBケーブルを使って接続してください。 • 本機が対応しているシステム構成（114ページ）以外では、動作保証はいたしかねます。 • お使いのパソコンのUSBポートの位置によっては、認識できないことがあります。別のUSBポートに接続してください。
転送したファイルが再生できない。	• 転送したファイルが本機で再生可能なファイル形式（LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/LPEC(.msv)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)）と異なる。ファイルの名称を確認してください（115ページ）。
パソコンが起動しない。	• 本機をパソコンに接続したまま、パソコンを起動すると、パソコンがフリーズしたり、起動しないことがあります。 → 本機をパソコンからはずして起動してください。

こんなときは（付属のSound Organizer）

Sound Organizerのヘルプもあわせてご覧ください。

症状	原因／処置
インストールできない。	• ハードディスクの空き容量が少ない。 → 容量を確認してください。 • Sound Organizerが動作保証していないOSにインストールしようとした。 → 対応しているOS（105ページ）にインストールしてください。 • Windows XPの制限ユーザー、Windows VistaまたはWindows 7のGuestアカウントでログオンしている。 →「コンピューターの管理者」に所属するユーザー名でログオンしてください。 • 日本語以外のOSにインストールしようとした。 → 日本語のOSにインストールしてください。
本機と接続できない。	• ソフトウェアのインストール、接続ケーブルの接続などを正しく行ったか確認してください。 – 外付けUSBハブをご使用の場合には、直接パソコンに接続してください。 – 本機側の接続ケーブルを抜き差ししてください。 – 他のUSBポートで接続してみてください。 • システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行している。 → システムサスペンド／システムハイバネーションモードに移行しないでください。 • 内蔵メモリーやメモリーカードのデータをパソコンに全てバックアップした後で、内蔵メモリーおよびメモリーカードを本機でフォーマットしてください（93ページ）。
パソコンからの再生音量が小さい、 パソコンから音が出ない。	• サウンドポートが付いていない。 • パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。 • ミュートが解除されていない。 • パソコン側で音量を上げてみてください。（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。） • WAVファイルの場合は、サウンドレコーダー（Windowsに搭載）で音量を上げて保存しなおすこともできます。

症状	原因／処置
保存したファイルが再生、編集できない。	• 対応していないファイル形式のファイルは再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません。詳しくは、ヘルプをご覧ください。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、雑音が入る。	• 分割／結合、上書き録音、追加録音などを行ったファイルをパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 → いったんハードディスクに保存してから*再度本機に戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。（*本機の形式に合ったファイル形式で保存してください。）
ファイル数が多くなると動作が遅くなる。	• 録音時間の長さに関係なく、本機内のファイルの総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
ファイルの保存・追加・消去中に画面が動かなくなる。	• 録音時間の長いファイルの場合、コピーまたは消去に時間がかかります。 → コピーまたは消去が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう。	• 本機と通信を行っている間は絶対にケーブルを抜かないでください。パソコンの動作が不安定になったり、本機内のデータが壊れるおそれがあります。 • 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。

メッセージ表示一覧

メッセージ	原因
ホールド	• 本機が誤動作防止(ホールド)状態になっているため、すべてのボタン操作が無効になっています。電源／ホールドスイッチを中央位置にスライドして、ホールドを解除してください(12ページ)。
電池残量がありません	• 電池が消耗しています。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は充電するか(13ページ)、充電済みの電池と取り換えてください。
メモリーカードエラー	• メモリーカードスロットにメモリーカードを挿入時にエラーが発生しました。いったんメモリーカードを抜き差ししてください。それでも同じエラーが表示される場合は、別のメモリーカードをお使いください。
非対応のメモリーカードです	• 本機が対応していないメモリーカードが使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください(42ページ)。 • 正規品ではないM2™が使われています。「本機で使用できるメモリーカード」をご覧ください(42ページ)。
メモリーカードがロックされています	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。本機ではお使いいただけません。
読み取り専用のメモリーカードです	• 読み取り専用メモリーカードが使われています。本機ではお使いいただけません。
アクセスは禁止されています	• アクセスコントロール機能が有効なメモリーカードが使われているため、ご利用できません。
メモリーが一杯です	• 録音できるメモリー容量がなくなりました。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
ファイルが一杯です	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、新規のファイルを作成できません。いくつかのファイルを消去してからやり直してください。
ファイルが壊れています	• 選んだファイルのデータが破損しているので、再生や編集ができません。
本機でフォーマットが必要です	• パソコンで本機をフォーマットしたためUSB接続で電源を入れようとしても、動作に必要な管理ファイル作成ができません。メニューで本機のフォーマットをしてください(93ページ)。パソコンでフォーマットしないでください。

メッセージ	原因
処理を継続できません	• 電池を抜き差ししてみてください。 • 必要なデータをバックアップしてからメニューで本機をフォーマットしてください(93ページ)。 • 上記で解決しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。
停止してからメモリーカードを再挿入してください	• 再生、録音処理中にメモリーカードを挿入したため、メモリーカードが認識できませんでした。一度メモリーカードを抜いてから、停止状態のときに、挿入してください。
時計を設定してください	• 時計合わせをしていないと、アラームは設定できません。
追加／上書き設定がオフです	• メニューで「追加/上書き」が「オフ」に設定されているので、追加または上書き録音ができません(86ページ)。
トラックマークが一杯です	• すでに上限までトラックマークを設定しているため、これ以上追加できません。不要なトラックマークを消去してください(74ページ)。
ファイルがありません	• 選んだフォルダには1件もファイルが録音されていません。ファイル移動とアラーム再生の設定などの操作ができません。
トラックマークがありません	• トラックマークが設定されていないため、トラックマークの消去、全分割が実行できません。
登録がありません	• アラーム設定を1件もしていない場合は、「アラーム一覧」は表示できません。アラーム設定を「新規」で設定してください(61ページ)。
電池が残りわずかです	• 電池が残りわずかのため、フォーマットやフォルダ内消去ができません。新しい単4形乾電池と取り換えてください。充電式電池の場合は充電するか(13ページ)、充電済みの電池と取り換えてください。
ファイルが保護されています	• 選んだファイルが保護設定されているか、「読み取り専用」になっています。消去などができません。本機で保護設定を解除するか、パソコン上で「読み取り専用」属性をはずすと、操作できるようになります(81ページ)。
既に設定済みです	• 選んだファイルには既にアラーム再生が設定されています。別のファイルを選択してください。 • 既に別のファイルで同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください。
過去の日時です	• 現在日時よりも前の日時でアラームを設定しようとしています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください(61ページ)。

メッセージ	原因
登録が一杯です	• アラーム登録は30件までです。未使用のアラーム設定を解除してください。 • メニュー「フォルダ名変更」を実行したときに、選択したフォルダ名と同名のフォルダが10個存在しています。別のフォルダ名を選択してください（79ページ）。
非対応のデータです	• 本機で対応していないファイル形式のデータです。本機が対応しているファイル形式（拡張子）は、LPCM(.wav)/MP3(.mp3)/LPEC(.msv)/WMA(.wma)/AAC-LC(.m4a)となります。詳しくは本機の仕様をご覧ください（115ページ）。 • 著作権保護されたファイルは再生できません。
操作できません	• 再生専用エリアの ♫(Music)タブ、◎(Podcast)タブで管理されているファイルは分割やトラックマーク設定ができません。 • メモリーカードが後発不良（BADBLOCK）になった場合、データの書き込みができません。新しいメモリーカードを準備してください。 • ファイル名が最大文字数に達しているため、分割できません。ファイル名を短くしてください。 • 分割実行位置の前後0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満にトラックマークが設定されているため、「トラックマーク全分割」が実行できません。 • ファイルの長さが1秒未満のため、分割できません。 • ファイルの先頭または終端から0.5秒未満では、「現在位置分割」は実行できません。 • LPEC(.msv)ファイルに対しては、編集機能がお使いになれません。
新しいファイルで録音を継続します	• 録音中のファイルがファイルサイズの上限（LPCMは2 GB、MP3は1 GB）に達しています。ファイルは自動的に分割され、録音を継続します。
ノイズカット設定時は無効です	• ノイズカットを設定している場合は、エフェクト設定よりも優先されます。ノイズカット設定を解除してください（54ページ）。
フォルダを切り換えます	• 📁 または 📁 で表示されるフォルダにファイルがひとつもない場合、フォルダが表示できないため、表示できるフォルダに切り換えます。
ファイル数が上限を超えるため分割できません	• フォルダ内のファイルの合計か、全体のファイル数が最大になったため、ファイルの分割はできません。不要なファイルを消去してからやり直してください。

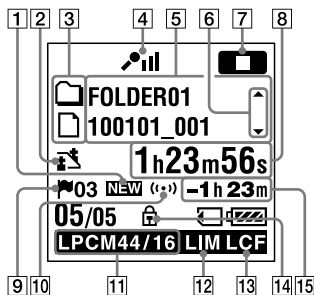
メッセージ	原因
同名のファイルが存在します	• 作成されるファイルと同名のファイルが存在しているため、ファイルの作成ができません。
メモリーカードがありません	• メモリーカードスロットにメモリーカードが挿入されていないため、「メモリー切り換え」、「ファイルコピー」、「クロスメモリー録音」の設定はできません。
メモリーを切り換えて録音を継続します	• 「クロスメモリー録音」が有効に設定されている場合、現在のメモリーがいっぱいになると自動的に、もう一方のメモリーに切り換えて録音を継続します。
マニュアル設定時は無効です	• メニュー「録音感度」が「マニュアル MAN」に設定されています。VOR設定は働きません(85ページ)。
マニュアル設定時に有効です	• メニュー「録音感度」が「マニュアル MAN」に設定されていません。リミッター設定は働きません(85ページ)。
分割位置付近のトラックマークを消去しました	• 分割実行位置の前後0.5秒以内にトラックマークが設定されていた場合は、自動的に消去されます。
メモリーカードでは操作できません	• メモリーカードに保存しているファイルには、アラーム設定できません。本機のメモリーを「内蔵メモリー」に切り換えてください(44ページ、45ページ)。
故障です	• 何らかの原因でシステムエラーが発生しています。一度電池をはずし、再度入れ直してください。それでも動作しない場合は、ソニーの相談窓口(裏表紙)までご連絡ください。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因／処置
最大録音時間まで録音できない。	• 様々な録音モードを混ぜて録音すると、最大録音時間は各モードの最大録音時間の間になります。 • 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「録音可能時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
音楽ファイルを順番に表示、再生できない。	• パソコンを使って、本機に転送した音楽ファイルは、システムの制約により転送順にならないことがあります。パソコンにある音楽ファイルを1ファイルずつ本機に転送すると、表示、再生の順番を転送順に合わせることができます。
録音中に自動的に分割されてしまう。	• 録音中のファイルまたは音楽がファイルサイズの上限（LPCMは2 GB、MP3は1 GB）に達しています。ファイルは自働的に分割されます。
英文字がすべて大文字になってしまう。	• パソコンで作成したフォルダ名称の文字の組み合わせによっては英文字がすべて大文字になってしまうことがあります。
フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名に「□」が表示される。	• 本機で表示できない文字が使用されています。パソコンで本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。
A-Bリピート設定で、設定位置がずれてしまう。	• ファイルによっては、設定位置がずれてしまうことがあります。
ファイルを分割すると、録音可能時間が少なくなる。	• ファイルを分割すると、ファイル管理をする領域が必要になるため、録音可能時間が少なくなります。

表示窓について

停止時

1 ポッドキャスト新着情報

2 シーンセレクト設定表示
選択しているシーンが表示されます。
シーンが設定されているときにだけ表示されます。
：会議
：ボイスメモ
：インタビュー
：音楽
：Myシーン

3 曲情報種別表示
：録音可能フォルダ
：再生専用フォルダ
：ポッドキャストフォルダ
：タイトル
：アーティスト
：ファイル

4 録音時のマイクの感度が表示されます。
：高
：中
：低
：高（音楽）
：低（音楽）
MAN：マニュアル
MAN（マニュアル）の時は、録音レベルも表示されます。

5 曲情報表示
曲情報種別に合わせたそれぞれの名称（フォルダ名、タイトル名、アーティスト名、ファイル名）が表示されます。

6 曲情報切り換え操作ガイド
コントロールボタンの▲または▼を押して、曲情報表示を順に切り換えることができます。レベルメーターを表示させることもできます。

7 動作モード表示
本機の動作状態に応じて下記のように表示されます。

■：停止中
▶：再生中
REC：録音中
●II：録音一時停止中に点滅
VOR REC：VOR録音中
VOR ●II：VOR録音一時停止中に点滅
VOR録音を「オン」にしているときに● 録音／一時停止ボタンを押して録音を一時停止すると ●II だけが点滅します。

SYNC REC：シンクロ録音中
SYNC ●II：シンクロ録音一時停止中に点滅
◀◀ ▶▶：早戻し／早送り再生中
I◀◀ ▶▶I：連続ファイル戻し／送り

8 経過時間、残り時間、録音日付、録音時刻表示

9 トラックマーク表示
現在位置のトラックマーク番号が表示されます。トラックマークが設定されているときにだけ表示されます。

10 アラーム表示
ファイルにアラームが設定されているとき表示されます。

11 録音モード表示
停止中はメニューで設定されている録音モードが、再生中または録音中はそのファイルの録音モードが表示されます。

LPCM 44/16：本機で録音、または転送されたLPCMファイル

MP3 8k、MP3 48k、MP3 128k、MP3 192k、MP3 320k：本機で録音、または転送されたMP3ファイル

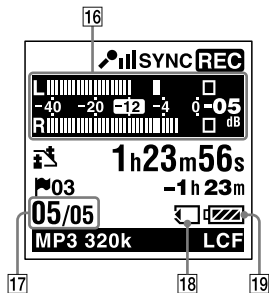
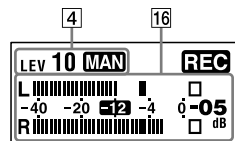
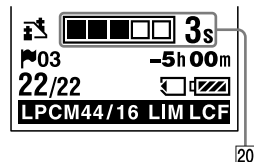
パソコンなどから転送されたファイルは、ファイル形式表示（LPCM／MP3）のみが表示されます。
WMA：転送されたWMAファイル
AAC：転送されたAAC-LCファイル
LPEC：転送されたLPECファイル
録音モード情報を取得できないときは、下記のように表示されます。
----：不明

12 リミッター表示（マニュアル録音時のみ）
「リミッター」が「オン」に設定されているときに表示されます。

13 LCF表示
「LCF(Low Cut)」が「オン」に設定されているときに表示されます。

14 保護マーク
ファイルが保護設定されているとき表示されます。

15 録音可能時間表示
録音可能時間を時間、分、秒で表示します。
10時間以上の場合：時間
10分以上、10時間未満の場合：時間と分
10分未満の場合：分と秒

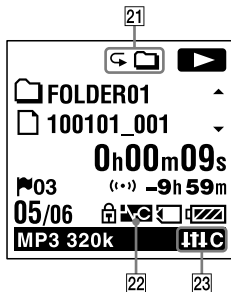
録音時（オート（AGC）録音時）

録音時（マニュアル録音時）

録音時（プリレコーディング実行時）

16 レベルメーター表示
オート（AGC）録音時での表示です。マニュアル録音時には、白黒が反転して表示されます。

17 位置情報表示
選んだファイル番号が分子にフォルダ内の総ファイル数が分母に表示されます。

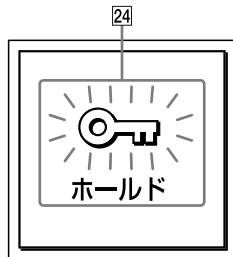
18 メモリーカード表示
現在使用しているメモリーがメモリーカードのときにのみ表示されます。内蔵メモリーを使用中は何も表示されません。

19 電池マーク

20 プリレコーディング蓄積時間表示
録音スタンバイ中のとき表示されます。

再生時

21 再生モード表示
1：1件
：フォルダ
ALL：全件
1：1件ファイルリピート
：フォルダ内ファイルリピート
ALL：全ファイルリピート

22 ノイズキャンセリング表示（ICD-SX813のみ）
ノイズキャンセリング機能が動作中のとき表示されます。

23 ノイズカット／エフェクト表示
ファイルの音質を切り換えているとき表示されます。
N-CUT：ノイズカット
P：ポップス
R：ロック
J：ジャズ
BA1：ベース1
BA2：ベース2
C：カスタム

ホールド状態時

24 ホールド表示
誤動作防止（ホールド）状態になっているときに表示されます。すべてのボタン操作が無効になっています。
ホールドを解除するには、電源／ホールドスイッチを中央位置にスライドします（12ページ）。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

- 本製品の不具合により、録音や再生ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- お客様が録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてパソコンまたはメモリーカードに保存してください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。
種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド(Ni-Cd)
ニッケル水素(Ni-MH)
リチウムイオン(Li-ion)

乾電池
アルカリ、マンガン

ボタン型電池
リチウムなど

⚠危険 **充電式電池、乾電池、ボタン型電池が液漏れしたとき**

- 充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。
- 液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口(裏表紙)またはソニーサービス窓口に相談する。
- 液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるため、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師に相談する。
- 液が身体や衣服についたときは、やけどやけがの原因になるため、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談する。

⚠危険 **充電式電池について**

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 取扱説明書に記載された充電方法以外で充電しない。
- バッテリーキャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯、保管する。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の充電式電池以外は使用しない。
- 長時間使用しないときや、長時間USB ACアダプターで使用するときは取りはずす。
- 液漏れした電池は使わない。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照してください。

⚠警告 乾電池、ボタン型電池について

- 小さい電池は飲み込むおそれがあるので、乳幼児の手の届かないところに保管する。**電池を飲み込んだときは、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談してください。**
- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。
- ショートさせたり、分解したり、加熱したりしない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや、USB ACアダプターで使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 液漏れした電池は使わない。

⚠注意 乾電池、ボタン型電池について

- 火のそばや直射日光の当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多いところで使わない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。

お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

索引

数字、記号、アルファベット順

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行